

人と夢を紡ぐコミュニケーションマガジン

FD

Fine Dream 福岡大学学園通信

2010.April NO. 29

人をつくり、時代を拓く。

福岡大学

創

はじめる

日々の蓄積が大きな成長を生む
だからこそ、今からはじめよう

SPRING



FD

FDは、「この福岡大学のキャンパスで在学生の皆さん一人一人が、美しく素敵な夢 (Fine Dream) を育んでくれるように」との願いを込めるとともに、あわせて FUKUOKA DAIGAKU の頭文字を構成し、愛称として名付けられています。

CONTENTS

「創」

日々の蓄積が大きな成長を生む
だからこそ、今からはじめよう

新入生歓迎特集

新入生へのメッセージ

- 夢の実現へ、新たな一歩を踏み出す皆さんへ 3
- あなたのスタートを応援! PICKUP サポート施設 活用ガイド 9

情熱の証

○弓道部 ○法律研究部

FUKUDIARY 卒業式

先生の研究

廣瀬 伸一 医学部小児科 主任教授
「小児科疾患の分子生物学および細胞生物学的研究」

教育クローズアップ

「キャリア教育とインターンシップの連携」

時は流れて

時代を駆ける先輩たち

マイクロソフト株式会社 浦田樹一郎さん

就活日記Myチャレンジ

Fの鼓動

知っていますか? 「村上春樹」

今、考えたい「食」のこと

私のとっておきの一冊/ヒューマンディベロップメントセンター

創立75周年記念事業募金 寄付者ご芳名一覧

ななくま通信

地域の福大サポーター

建学の精神

思想堅実・穏健中正
質実剛健・積極進取

【教育研究の理念】

「人材教育」と「人間教育」の共存
「学部教育」と「総合教育」の共存
「地域性」と「国際性」の共存

福岡大学の 三つのポリシー

アドミッションポリシー

本学の「建学の精神」を理解した、次のような人たちを広く国内外から受け入れます。

1. 考え方がしっかりしており独断や偏見にとらわれない生き方を求める人
2. 温和で包容力がありバランス感覚に優れた能力を身につけたい人
3. 誠実で責任感が強く何事にも屈しない人生をめざす人
4. 新しいこと、困難なことに自ら進んで取り組んで行こうとする人

カリキュラムポリシー

本学の「教育研究の理念」に基づき、すべての学生に提供する「共通教育科目」と、各学部学科に設置する「専門教育科目」の二つを大きな柱とし、それぞれの学部学科の教育目標にあわせたカリキュラムを構成します。また、正課外教育においても、充実した各種教育プログラムを展開し、全教職員で本学学生の人的成長を支援し、全人教育を実現します。

1. 全学に提供する共通教育科目をとおして、専門性にとらわれない幅広い視野と豊かな人間性を持つ人材を育成
2. 各学部学科が設置する専門教育科目をとおして、専門的な知識や技能を高め、社会の進歩や変革に応え得る深い学識を有する人材を育成
3. 様々な教育プログラムをとおして、国際性と地域性を兼ね備えた21世紀に通用する人材を育成

ディプロマポリシー

本学の教育課程においては、厳格な成績評価を行い、所定の単位を修め、次の能力を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与します。

1. 修得した知識・技能・態度により、自らが発見した新たな課題を解決する力
2. 職業生活、社会生活に必要な知的活動を支えるコミュニケーション能力や論理的思考力
3. 自律しながらも他者と協調して行動でき、社会の一員として社会の発展に寄与できる力



昨日より、今日の自分。
今日より、明日の自分。
ちよつとずつでもいい。
一歩一歩の前進が積み重なれば、
大きな成長が生まれる。
さあ、今からはじめよう。
きつと明日は、
今日の自分を越えられるから。

そう「創」...物事を始めること。(出典:『広辞苑』岩波書店)

創

はじめる

FD April.2010
NO. 29

第29号(通巻199号)平成22年4月26日発行
編集・発行:福岡大学広報委員会
(福岡大学企画部広報課)
〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19-1
TEL:092-871-6631 (代)
E-mail: fupr@adm.fukuoka-u.ac.jp

『FD』に対するご意見、ご感想をお寄せください。

より良い広報誌づくりのために、本誌に対する読者の皆さまからのご意見、ご感想などをお待ちしています。また、情報提供などありましたらお知らせください。

春夏秋冬(編集部より)

本年1月5日、本学卒業生の浦田樹一郎さんが昨年、「ビル・ゲイツ賞」を受賞したとの知らせが突然舞い込んだ。世界を席巻する大企業マイクロソフト社、同社の社員は全世界に約95,000人。その社員の中から、年間わずか17人にしか与えられないという最高の栄誉を掌中にしたのだ。

この吉報に急遽、取材スケジュールを変更。早々にマイクロソフト社を訪ね、浦田氏への取材を決行した。「福岡大学には本当にお世話になりました。母校や後輩のために何か恩返しをしたい。私で出来る事があれば何なりと、実に謙虚な態度で母校への感謝の気持ちを語った浦田さん。『無理に大きな夢を持たなくてもいい。小さな自己実現の積み重ねが、将来の成長につながる。少しずつ努力することから始めるといい』と学生の皆さんへのメッセージもいただいた。

今号のテーマは「創」。この「創」という字には、「はじめる」という意味がある。新入生の皆さんを迎えた七隈キャンパスは活気に満ち溢れ、それを見守るかのように緑豊かな数々の樹木が心地よい風に揺れている。このキャンパスから巣立ち、今や世界の大舞台で活躍する浦田さんのメッセージを胸に、将来の成長につながる自分なりの何かを皆さんもはじめてはどうだろうか。

新入生へのメッセージ

夢の実現へ、新たな一歩を踏み出す皆さんへ

学長からのメッセージ

入学式 学長式辞

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは志願者4万5,491名の中から入学の栄冠を勝ち取られました。心より祝福いたします。

ご臨席のご家族の皆さまにも心よりお喜び申し上げます。さらに、本日は皆さんをお祝いするため多数の来賓をお招きしております。その中に、本学を43年前に卒業された先輩の方々をお招きしております。

さて、福岡大学は、西日本また九州において私学の雄として存在感のある一大教育機関となっております。また、本学は、文系・理系を含めて九つの学部、大学院十研究科、二つの大学病院、二つの附属高等学校、一つの附属中学校を有しており、名実ともに総合大学としての地位を確立しております。さらに、本学は、一部を除き福岡市南西部のこの七隈地区に集積立地する福岡の拠点・シンボルのな大学として位置づけられます。5年前の平成17年には地下鉄七隈線が開通し、福大前駅が出来ており、また、都市高速



さて、新入生の皆さんはこれから大学生活を送ることになりますが、そのスタートに当たって五つほど心掛けるべき点を述べます。

一、志を持つこと

新入生の皆さんには、勉学や課外活動、その他の活動のために受け入れ態勢を整ったこの七隈キャンパスの地で大いに羽ばたき、大きく成長してもらいたいと願っております。一人一人が向学心、意欲、意志を持って取り組み、それぞれ自分づくりの道を歩んでいくって下さい。そして、この大学生活を通して自分自身を変えてみせてください。その姿を両親やご家族に見せてもらいたいと思います。

二、「知」と「心」を学ぶこと

皆さんは、「知」を学ぶとともに、「心」も学んでほしいと思います。「知」を学ぶとは、専門的な知識や教養の知識など幅広い知識を学ぶことであり、また、論理的な思考力、総合的な視点や判断力などを身に付けることです。「心」を学ぶとは、礼儀・マナー、倫理観、正義や道徳、責任感など多くの精神に関わる部分を身に付けることです。もちろん、「知」を学ぶことは「心」を学ぶことにもつながり、両者は必ずしも相反するものではありません。時代は少しでも身に付け、一回りも二回りも大きな人間に成長する、それがご両親とご家族に報いることになり、社会に役立つ基盤となります。

三、勉学が核であること

五、出合いを大切にすること

大学に入った以上、専門教育科目や教養科目を中心とした勉学にこそ心むくことが求められます。勉学は皆さんの大学生活の核であり、その周りに課外活動やその他のさまざまな活動が存在しています。皆さんは核となる勉学ならびにその他の活動を計画的にうまく調整し、苦楽をともにしながら展開することが必要となります。実際に多くの学生はそうにして学生生活を有意義に送っているのです。

大学という場は、皆さんの人生を豊かにする最大の機会を提供します。それは特別な利害と結びつかない人との出合いを可能にする場であるといえるからです。多くの出合いの機会が散らばっているのが大学の大きな特徴です。皆さんはいろいろな所で自分以外の学生や教員と出合い、付き合い合うこととなります。その中で培われた付き合いや友情、仲間は何物にも代えがたい生涯の宝物となって生き続けることになり、皆さんにはその宝物を探し、それを大事にし、人生に生かしてください。

平成22年4月2日

福岡大学長 衛藤 卓也

理事長からのメッセージ

入学式 理事長挨拶

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これまでの努力が実を結び、本日でたく入学式を迎えられ、感慨無量のものがあると思います。そして、これまで「子思」ご息女の成長を支え、温かく見守ってこれたご家族の皆さま方にも心からお祝いを申し上げます。

新入生の皆さんは、多くの志願者の中から厳しい選抜を経て入学された優秀かつ無限の可能性を秘めた方々であります。そのような皆さんをお迎えできますことを大変うれしく思いますとともに、これからの皆さんの学業に対する真剣な取り組みと成長を、大いに期待するものであります。

さて、今日の日本社会は、少子高齢化の進展や経済不況さらには教育、医療、環境など、多岐にわたる課題を抱え、先行き不透明の厳しい状況にあります。

そのような時代を力強く生き抜き、明るい日本の未来を切り拓いていくのは皆さん

平成22年4月2日

学校法人福岡大学

理事長 末永 直行



今年も入学式に卒業生を招待

今年も入学式には、来賓として本学の卒業生をお招きしました。今年は43年前に卒業(昭和42年卒)された先輩37人が列席され、母校の盛大な式典を感慨深く見守っていらっしゃいました。



新入生へのメッセージ

「創」夢の実現へ、 新たな一歩を踏み出す皆さんへ

福岡大学の学生となった新入生の皆さんへ、4人の副学長をはじめ、事務局長、各学部長、教務部長、学生部長、在学生代表から歓迎の言葉をお届けします。これからの大学生活を充実したものにする大きなヒントが詰まっていますのでぜひ目を通してください。

副学長(主に教学を担当)

馬本 誠也 教授



福岡大学の コミュニケーションの一員として

新入生の皆さんは、福岡大学のコミュニケーションの一員となりました。コミュニケーションには共通の理念が存在します。それは「建学の精神」と「教育研究の理念」です。それらを分かりやすい言葉で伝えたいのが「福岡大学の三つのポリシー」です。これから、しっかりと読み、これからの大学生活の中で深く理解していただくことを願います。そして、福岡大学で学んだことを大切に、「自分」はどのような人間になり、社会でどのような役割を果たすのかをじっくりと考えてほしいと思います。

コミュニケーションの成立は、コミュニケーション。まずはあいさつから始まります。そして、人と人とのコミュニケーションが必要となります。新入生の皆さんには、良き師、良き友、良き書物との出会いを大切に、多くの人と心を通わせ、価値観の多様性を理解することで、自分自身もコミュニケーションも大きく成長させてほしいと願っています。

副学長(主に財政を担当)

藤原 道弘 教授



新しい文化の創造に 積極的な関わりを

心算させて正門をくぐった新入生の皆さん、少し立ち止まって、この大学の風を感じてください。今、このキャンパスは新しく生まれるエネルギーに満ち溢れています。皆さんも目にしてるように、新しい新中央図書館棟と商学部棟(いずれも仮称)の建設が始まりました。また、さまざまな施設の整備を通して、地域に開かれた大学への歩みを進めています。9学部と病院施設が集結したこのキャンパスは、科学的知性と文化的知性の統合からなる多様な価値観を持つ人々が集う「場」として、さらに大きく成長しているのです。知と人の交流から新しい文化が生まれます。新入生の皆さんも新たな文化を創る一員として、積極的に関わってほしいと思います。

新しいことを始める時には、大きなエネルギーが必要です。一人の力では足りなければ、周りを巻き込み、力を借りてください。本学には皆さんの物的にも精神的にも支援できる環境があります。それらのエネルギーを存分に活用してほしいと思います。

副学長(主に研究・情報・広報を担当)

大和 竹史 教授



恵まれた学びの環境や 機会を生かして

ワンキャンパスに9学部が集結する福岡大学。文系・理系の学生が交流し、また、各専門分野の連携が図れる恵まれた環境を生かして、世界的にも注目されるさまざまな研究に取り組んでいます。例えば、本学が開発した廃棄物処理処分技術(準好気性埋立工法)は、国際的な評価が高く、インドネシア・ゴワ市とは環境分野でのMOU(覚書)を締結。他にも、文部科学省採択事業「ワンキャンパス集積型総合大学の教育研究高度化推進支援プロジェクト」として、「地域」「防災」「環境」「健康」をキーワードに掲げ、学部横断型の教育研究テーマに取り組んでいます。

皆さんには、このような先進的な研究を行っている大学で学べる喜びを味わってほしいと思います。本学では専門家を招いた講演会やシンポジウムの機会も多く、たくさんの気付きや学びが得られるでしょう。日頃からアンテナを張り、そして実際に参加・行動することから始めてください。

副学長(主に医学・医療・健康を担当)

瓦林 達比古 教授



最良のエデュケーションは コミュニケーションにある

本学は病院施設に加え、医学部、薬学部、スポーツ科学部という健康に関わりの深い学部を有する全国でも珍しい大学です。これは大きなメリットであり、質の高い教育の提供はもちろん、学生の皆さんや教職員、地域の健康を支えるだけでなく、地域における健康づくりの拠点としての広がりを持っています。

本学が地域の「健康づくり」の拠点となれば、他大学の学生や、地域のさまざまな世代の方もこのキャンパスに集まることになります。

新入生の皆さんは、多くの方々とのコミュニケーションを大切にしてください。コミュニケーションの中にこそ、最良のエデュケーション(教育)があります。教育の基本は人としてのキャパシティを広げることです。それは、コミュニケーションをベースに始まっていくのです。また、多様な人々と共に過ごす中で、助け合う心を身に付けてください。それがこれからの社会を支える大きな力になると信じています。

事務局長

柳 幹男



やり通した体験から 精神的強さを身に付けて

これから福岡大学で4年間、または6年間を過ごす皆さんに伝えたいのは、「これだけは一生懸命に頑張った」やり通したという体験を一つでもいかに得てほしいということです。それは勉強やスポーツ、ボランティア活動など、何でも構いません。まずは始めてみましょう。一度始めたことを最後までやり通すには、忍耐力、気力、努力、胆力など、さまざまな力が必要となります。やり通すことは決して簡単なことではありませんが、それらの力の積み重ねが将来の自分の強みになることを覚えておいてほしいのです。

社会に出れば、予期せぬことがいろいろと起こります。その時に重要なのは、どう立ち向かっていくか。学生時代に何かをやり通して培った意志の強さと自信は、そういう時に大きな力を発揮します。大学時代は社会人になるためのリハサル期間です。大学時代が皆さんにとって楽しく、充実したものであると同時に、精神的な強さを養う場となることを期待しています。

人文学部長

則松 彰文 教授



さまざまな視点から 「人間」について学ぶ

人文学部は8つの学科で構成された個性あふれる学部ですが、そこには「徹底した少人数教育を通じて人間を総合的に探究する」という共通のテーマが貫かれています。このテーマでの学びが目標とするのは、あらゆる事象を複眼的に見つめる幅広い視野と柔軟な発想力を培うことです。その集大成となるのが卒業論文です。ぜひ大学時代に、学びに没頭できる喜びを感じつつ、しっかりと論文を書き上げてください。

掘り下げていくテーマは多様な学びを通して見つけていくことになりませんが、ぜひ学生の皆さんは古文書などの「生の史料」にも触れてほしいと思います。誰かが読み解いたもので知るのではなく、そのものに触れ、自分で考えを組み立てていくところに、学問の面白さを見いだせるはずです。また、実際の体験から得る刺激は、人生の糧となります。サークル活動や旅行など、さまざまなことを積極的に体験し、視野を広げてください。

法学部長

畠田 公明 教授



自ら問うて、 自ら考える力を養う

現代社会は法の下に成り立っており、法は私たちの生活に大きく関わってきます。法という社会のルール、法が成立するプロセス、法を運用するシステム、これらを学ぶことで身に付くリーガルマインド(法的思考能力)やコンプライアンス意識(法の遵守精神)は、社会が求める人材の素養そのものであり、あらゆる分野で生かすことができるものです。また、法を学ぶためには、専門知識や論理的思考だけでなく、全般的な観点やバランス感覚、いわば人間力が必要です。インターナショナルや海外研修、少人数ゼミでの議論など、体験を通して学びから身に付けていってください。

リーガルマインドを磨くためには、新聞やテレビのニュース等に対し、問題意識を持つて見ることから始めましょう。法律上の問題を発見して解決する過程は、まさにクリエーティブな作業。自ら問うて自ら考える習慣を付けることが、その後の人生にとって有益な土台となるでしょう。

経済学部長

藤本 喬雄 教授



社会を長期的・大局的に 見る力を身に付ける

経済学とは、貧困・恐慌・戦争などの背景にある要因を分析し、考察を重ね、このようにした方がよいと社会に提言するための学問です。本学経済学部は、そのようなエコノミストの養成を目標とする一方、そのための学びを通して、社会に対する大局観や幅広い視野、問題の発見・解決能力を養うことで、自身が選んだ仕事を通じて、より良い社会づくりに貢献することのできる人々の育成を目標に掲げています。教授陣のキャリアや専門分野はバラエティに富んでおり、さまざまな視点から学べることで、経済学部の強みになっています。

経済学は議論の学問です。学生の皆さんも自分なりの理論を考えることから始めてください。そして多くの先生や仲間たちと議論を重ねることで、経済学を学ぶ楽しさが深まるはずです。また、視野を広げるための海外留学の機会も用意しています。それらを生かした4年間を糧にして地域へ、世界へ、雄飛してくれることを願います。

商学部長

川上 義明 教授



創立時のDNAを引き継ぎ 変革を起こすイノベーターへ

商学部の歴史は福岡大学の歴史そのものです。1934年創立の福岡高等商業学校の設立趣意書にある「高等深遠なる商業学の教養ある有為な人材の育成」が本学商学部のDNAであり、今日まで受け継がれてきました。皆さんも、福岡大学の軸となる学部で学びを持ち、そのDNAの継承を自覚しながら大学生を送ってください。変化の激しい現代社会において、企業や組織に求められるのはイノベーター。つまり、変化を待つのではなく、変化革新を起こせるビジネスリーダーやマネージャーが求められています。社会や時代の先を読む力、身に付けることを目指して、大学の4年間を過ごしてほしいと願っています。

「高等深遠なる商業学」への始まりは、身近なところにあります。普段目にする具体的なモノ・コトに対し、「この商品が売れるのは？」と考える会社が急成長したのは、と考えることから、商学の深みが分かってくるはずです。

「創」夢の実現へ、 新たな一歩を踏み出す皆さんへ

**学部を超えた交流が
新たな自分を創り出す**

入学時、皆さんの手元に「福大生のための学習ナビ」が配布されたと思います。この冊子は、大学で学ぶ際の基本的な心構えを、分かりやすく説明した学びの入門書です。入学時はもちろん、少し大学生活に慣れた頃にもう一度じっくり読み返してください。そしてさらに、困った時などいつでも取り出せるよう、身近に置いて大学生活を始めてほしいと思います。

また、大学では正課外にもさまざまな学びの場を用意しています。各分野の有識者による講演会、今を生きての教養講演会もその一つ。それぞれの分野の第一線で活躍されているトップレベルの方々の生の声は、多くの感動と刺激を与えてくれるはずです。

ワンキャンパスに文系・理系全学部が集結した本学は、まさに、知の宝庫。その中で宝を探し、つかみ、可能性を広げていくのは自分自身です。そして、自分とは違う夢や目標を持つ多くの友人との出会いが、皆さんの未来を豊かで彩りあるものにしてくれます。



教務部長

今泉 博国 教授



学生部長

小野寺 一浩 教授

最初の一步を踏み出せば 新しい世界は広がる

学習面や人間関係の悩みをはじめ、経済的な問題、事故やトラブルに遭遇した場合など、相談窓口となつて皆さんの学生生活をサポートするのが学生課です。多くの悩みやトラブルは、対処が早ければ早いほど、大事に至ることなく解決します。今までは自分から働きかけなくても、親や先生など、周囲の誰かが先に気付いて導いてくれたかもしれない。しかし、大学生活は社会の入り口でもあります。自分から意思を持って行動を起こすことも、大人への第一歩です。一人で悩まず、気軽に学生課を訪ねてください。スタッフが皆さんに寄り添い、さまざまな問題を一緒に考えていきます。

また、学内には皆さんの学生生活をより有意義なものにする情報、便利な設備やシステムがたくさんあります。まずは「キャンパス探検」から始めましょう。広いキャンパス内では至る所に新たな発見があるはず。それらをうまく活用し、充実した大学生活を自分の力で創造してください。

新入生必携のハンドブック

Study Navi 2010 『福大生のための学習ナビ』

新入生のために「福大生として何をどう学べばいいか」を分かりやすく解説。学びの基本姿勢から試験の受け方、図書館の活用方法など、大学での「学び」に必要な事柄がコンパクトにまとめられています。



人間性を磨き、社会人としての基礎を養う

福大生ステップアッププログラム(FSP)

福岡大学は、建学の精神と教育研究の理念に基づいた全人教育、すなわち、専門性を有する教養人(人らしき人)の育成を重視した教育を進めています。その一環として、「学び」「豊かな人間性」「社会」への3つのステップから本学学生の人間的成長をサポートする「福大生ステップアッププログラム(FSP:Fukuoka University students Step up Program)」を実施しています。新入生の皆さんも積極的に参加してください。



在学生からのメッセージ



学生会 総務委員長
沖 光輝さん
(法学部法律学科4年次生)

自分を信じ、積極的に 新たなことへの挑戦を始めよう

福岡大学は規模が大きいだけでなく、とても大きな可能性を秘めた大学です。新たなスタートラインに立った新入生の皆さん、今がチャンス。自分の可能性を信じ、積極性を持って新しい何かに挑戦してください。私の場合は、今まで経験のないことにチャレンジしようと、学生会の総務委員会に入ったことから大学生活が始まりました。3年間の活動を通じ、先輩や学部の違う友人をはじめ、教授、職員の方々などたくさんの人と出会い、多くの学びと感動を得、とても充実した毎日を過ごしています。この掛け替えのない体験は自分にとって何よりの財産であり、将来の大きな自信につながるものと信じています。入学したばかりのあの日、勇気を出して先輩に声を掛けて本当に良かった。皆さんも気になること、興味を誘うものがあつたら、迷わず自分から行動を起こしてください。



理学部長

横張 文男 教授



工学部長

西嶋 喜代人 教授



医学部長

黒木 政秀 教授



薬学部長

山口 政俊 教授



スポーツ科学部長

中原 一 教授

知的好奇心を大切に 物事を自分で考える力を

理学部では「自然の仕組み」を学び、その研究を重ねることで、問題の本質に迫る視点、独自の発想で問題を解決する能力を養ってもらいたいと考えています。自然科学は「なぜだろう?」という知的な好奇心が大きな原動力となります。「面白い」と思う心を大切に、4年間真剣に打ち込めるテーマを見つけてほしいと願っています。そのベースになるのは基礎学習です。基礎知識があつてこそ、専門分野は面白くなり、一般教養を身に付けてこそ、柔軟な発想力が養えます。興味のある分野があれば、オプイスアワーに限らず、いつでも教員のもとを訪ねてください。共に真理を追究していきましょう。

また、自然科学を解明していく過程では、予測しない結果に出づかることもあるでしょう。ここが理学を深める始まりになります。「なぜ?」うなつたか」を深く掘り下げ、物事を自分で考える。理学部で培った素養は、実社会に出た時に大きな強みになります。

技術者としての活躍の道は 日々の学びの積み重ねから

工学部は、「良心に基づいた社会的責任能力と時代に即した判断力」を有し、科学技術をもつて社会の持続的発展に貢献する人材を育成することを人材養成の目的としています。そのすべてのベースとなるのが、工学の基礎知識の修得です。1年次から始まる基礎教育、導入教育で、幅広く確実に身に付けていくべきです。

社会の基盤を支える技術者には、緻密な思考と自律的な生活態度が求められます。それは学生生活でいえば、毎日講義に出る、ノートに取る、復習して次の講義に備える、といった地道な努力の積み重ねができることです。継続的に自己啓発に取り組み姿勢を備えて、初めて技術者としてのスタートラインに立つことができるのです。本学部では少人数専門教育をはじめ、先輩との交流、工場見学、インターンシップなど、学ぶ上でのモチベーションを高める教育にも努めていますから、4年間熱い気持ちを大切に全力で取り組んでください。

高い志を忘れず豊かな 人間性を身に付けて

医学部では本年度から、地域医療にさらに貢献していくことを目的に導入した「地域枠推薦入試」を経た新入生を迎えました。高い志と強い意志を胸に入学した皆さんを心から歓迎し、支援していきます。初心を忘れず、夢に向かって進んでいってほしいと思います。

「すべての患者さんを自分の身内」と考える。これが医療に携わる者にとつての始まりです。では、どうすればその実践ができるのか。その答えの一つが、豊かな人間性にあると考えています。日々進歩する専門的な知識と技能の修得はもちろんのこと、総合大学ならではの教養教育と他学部生との切磋琢磨を通じて、人としての大切な成長を遂げてほしいと願っています。

また、ハードな現場で働く身体力も欠かせません。大学時代は「人と付き合う」「体力を付ける」大事な時期でもあります。勉学に励むと同時に、サークル活動等にも積極的に参加し、心身ともに磨いてください。

メリハリのある生活から 理想の薬剤師像を描いて

薬剤師は薬学の知識・技能・態度を修めたスペシャリストです。しかし、薬剤師が向き合うのは社会や地域の方々。そんな患者さんの目線に立つためには、幅広い視野や豊かな教養、確かなコミュニケーション能力を土台とした人間力も不可欠です。本学には、大学病院や医学部、スポーツ科学部といった医療と密接に関わる施設や機関をはじめ、文系・理系の学部が1つのキャンパスに存在するという利点があります。これはこれからの薬剤師に最も必要な要素である、チーム医療の実践力を磨く場として、絶好の環境と言えます。幅広い教養を育み、多くの友人たちと交流し、自分の内面をどんどん広げていってください。

薬剤師としての始まりは、自分がどんな薬剤師でありたいかを見つけてことです。6年間の学生生活の中で大いに学び、大いに遊びながら、また、多くの卒業生との交流を通して、じっくりと自分なりの理想像を描いてください。

「真似る」ことが 「学ぶ」ことの出発点

スポーツ科学部は、スポーツの実践を通してスポーツ医学を学び、優れたアスリートやスポーツ健康運動の指導者を育成することを目的としています。将来はスポーツを通じて社会に貢献できるさまざまな道が開けていますので、より自分の道を描きやすいようカリキュラムにはアスリートコースや保健体育教員コースといった目指す進路に即した履修モデルを提示しています。

技術・スキルの習得は模倣(真似る)ことから始まります。実践はもちろんですが、座学を受ける際にも、単に知識を得るだけでなく、指導者の人間性に触れて、尊敬・共感できる部分を真似てみてください。最初は模倣であつても、試行錯誤を繰り返すうち、最終的には自分の力になっていくのです。本学部にはトップアスリートのみならず、さまざまな経歴を持つ魅力的な教授陣がそろっています。いろんな指導者と出会い、人間性を高めていくことが、人生の大きな糧になるでしょう。

「創」夢の実現へ、 新たな一歩を踏み出す皆さんへ

1号館1階 就職・進路支援センター

1年次から通いたい「自己実現」サポートの場

就職や進路に関するあらゆる情報提供や、自分が気付かずにいる個性や志向、適性を見出すことができるように支援してくれるのが就職・進路支援センター。学年に関わらず、センターの専任スタッフ、キャリアカウンセラー、進路相談員(企業での人事採用経験者)から、さまざまなアドバイスを受けることができます。就職・進路への不安は何でも相談して解決していきましょう。



1号館1階 国際センター

留学制度を利用して海外で学ぼう

海外の大学と交流協定を結び、交換留学や海外研修など外国の大学で学ぶ機会を提供するとともに、本学に在学している外国人留学生との交流の場を提供しています。



国際交流ボランティア学生(FIT)を募集中

外国人学生を支援する活動を行うための国際交流プログラムに参画してくれるボランティア学生を募集しています。国際親善活動を積極的に行いたい方はぜひチャレンジを。

A棟東側 エクステンションセンター

在学中に資格を取得したい

各種資格取得・採用試験対策やスキルアップのための「エクステンション講座」を開講しています。専門スタッフがあなたの「夢をカタチに!」するために随時相談に応じます。また、卒業生・一般社会人にも開放された生涯学習のための「福岡大学市民カレッジ」も開講しています。



学生部事務室棟3階 ヒューマンディベロップメントセンター (HDセンター:学生相談室)

心の悩みは一人で抱え込まないで

大学生活の中ではさまざまなことに悩み、不安になる時があるかも知れません。「授業に興味がない」「居場所がない」「気持ち落ち込んでいる」など、どんなことでも専門のカウンセラー(臨床心理士)と一緒に考えてくれます。「対人関係」「生き方・進路」「食」などをテーマにしたセミナーも定期的の実施していますので、気軽に訪ねてみましょう。



フリースペースも 相談事がなくても、静かにくつろげる場所もあります。気軽に利用してください。

中央図書館「新聞閲覧室」 (図書館・ゼミ棟2階)

当日の新聞各紙に目を通すことができます。立ち寄るのを毎日の習慣にしてみませんか?

ひょうたん池

カメやコイ、カモなどがいる大きな池がある、自然いっぱいの憩いの場。

PICKUP

あなたのスタートを応援! サポート施設 活用ガイド

福岡大学には学生生活を有意義に過ごすための

さまざまなサポート施設があります。

有効に活用して、キャンパスライフを充実させよう!

健康管理センター

健康に不安がある時は迷わずここへ

学生の皆さんの健康全般を支える厚生施設。講義やクラブ活動などの最中に発生した病気やケガに対応するだけでなく、定期健康診断から内科診療まで幅広くサポートしています。健康に関して不安な事柄や体調不良等についても、いつでも相談できます。



English Garden (バラ園)

バラの周りにはベンチがあり、落ち着いた雰囲気でお過ごしいたいただけます。ここで読書している人も多く見られます。



言語教育研究センター 自習室(7号館4階)

全学生に開放された自習室では、語学学習を目的として豊富にそろった視聴覚教材を利用することができます。



学生課

学生部事務室棟1階

学生生活のさまざまな悩みを解決

学生生活の全般的なこと、福利厚生面や経済的な諸問題について相談に応じるのが学生課。課外活動に関するサポートも行っています。「どこに相談したら良いのか分からない」ことは、まず学生課で相談してみましょう。



病气やけがで受診したらここへ
学生健康保険互助組合の「医療費給付制度」(全学生加入)で、手続きにより医療費の自己負担分の一部が給付されます。

EVENT SCHEDULE

イベントスケジュール

二十四節気						7月	
6/21頃 夏至(げし) 太陽の中心が夏至点を通過し、北半球では昼が最も長く、夜が最も短い日。	6/6頃 芒種(ぼうしゅ) 稲や麦など芒(とげ)のようなものがある穀類の種のこと。昔は種まきに適した時期。	5/21頃 小満(しょうまん) 爽やかな陽気となり、虫や鳥たちも活発に動き出す。草木が成長して生い茂り、満ちる頃。	5/5頃 立夏(りっか) 野山の新緑が美しく、夏の訪れを感じる。暦の上ではこの日が夏の始まり。	4/20頃 穀雨(こくう) 田畑の準備が整い、その穀物を育てるように春の雨が百穀を潤す。この長雨を菜種梅雨とも。		前期授業終了(21日) 前期定期試験(22日)〜8月1日()	学術文化祭(28日)〜7月2日() (音楽の夕べ)を含む 九州地区大学体育大会夏季大会(6月下旬)〜7月中旬()

二十四節気は、太陽暦を使用していた時代に季節を表すための工夫として考え出されたもので、1年を24等分にし、その区切りに名前を付けたものです。現在でも季節の節目節目に、これを示す言葉として使われています。

6月	5月	4月
父母懇談会(5日)〜7月4日 * 医学部医学科は別日程 第二部夏季球技大会(13日) 特待生表彰(中旬)	九州六大学野球春季リーグ戦 対西南学院大学(福岡戦)応援合戦(5月5日) 交通安全セミナー(5月初旬) 創立記念日(21日)※授業日 野外実習教育(キャンパス1泊2日)(5月下旬) 歯科検診(5月下旬) 交換留学生(2月派遣)募集(31日)〜6月10日()	入学式(2日) 1年次生履修登録ガイダンス(3日) 1年次生学部指導懇談会(3日、7日、9日) 1年次生履修登録(4日)〜6日() クラブ勧誘週間(5日)〜16日() 留学フェア(9日) 第二部新入生歓迎レセプション(9日) 前期授業開始(10日) 第二部クラブ勧誘週間(10日)〜17日() 定期健康診断(12日)〜6月21日() 第二部学生健康診断(12日)〜15日() 海外研修生募集(韓国)および 海外夏期英語研修生募集(英国)(12日)〜22日() 新入生歓迎ピクニック(18日) 第二部春季レクリエーション(25日) 昭和の日(29日)※授業日



平成21年度 福岡大学卒業式



“卒業生総代” からの メッセージ

生涯の恩師と友との出会い

物理や数学が大好きだったことから理学部を目指し、そして自然現象について学びたいと思い、本学の地球圏科学科に入学しました。4年間、素晴らしい先生方のご指導のもと、生涯の友となる学友たちと競い合いながら、とても楽しく学ぶことができました。一番の思い出は、多くの先生方と出合い、厳しく指導していただいたことです。中でも先生から頂いた「君たちは勉強しているのだから、ただ知識をためていられるのではなく、ただ知識をためていながら、筋道を立てて説明できるように、初めて、納得して理解していることになるのだ」というお言葉は、今でも印象深く心に残っており、きっとこれからも忘れることはないでしょう。

新しい挑戦と探求心が 答えを導き出してくれる

あきらめない気持ちで 道を開く

多くの学友に恵まれ、大学生活を十分に謳歌できた私ですが、入学当初はどちらかと言えば人と話すのが苦手でした。しかし「大学に入ったからには、思いっきり勉強をし尽くそう」と心に決め、それから自分から率先して先生に質問し、仲間と集まって勉強しているうちに意識にも変化が表れ、何事にも積極的に行動できるようになりました。いろいろな人の話を聞き、意見を交わし合う中で、私自身の考え方も大きく変化し、また変えることができたからこそ、学ぶ喜びを知ることができたのだと思います。そして、この喜びを4年間で終わらせたくないと思い、大学院進学を決めました。



平成21年度福岡大学卒業生 総代
(理学部地球圏科学科卒業)
安部 実希 さん

新入生の皆さんもぜひ、何か目標を持って大学生活を始めてください。まだ、何も決まっていなくてもいいのであれば、まずは何にでもトライしてみてください。自分から動き出さなければ何も始まらないのですから。勉強にはしっかりと向きあってください。理解することをおきかめずに追究していくと、その先にきっと喜びがあります。

福岡大学から社会へ 新しい人生の始まりに向けて 卒業生が巣立つ

式辞 (平成21年度卒業式)

学部卒業生3,882名の皆さん、ならびに大学院修士修了209名の皆さん、本日はご卒業おめでとうございます。本学を代表して心からお祝い申し上げます。

また、ご家族の皆さま、さらにご列席の皆さま方に心よりお慶び申し上げます。

本日の卒業式に当たり、卒業生の皆さんに、私から(はなむけ)の言葉を贈りたいと思います。

それは、当たり前の言葉かもしれませんが、「勤勉と努力」という言葉です。何事も、一生懸命に取り組む、または打ち込む、そしてそのための努力を惜しまないということです。

まず、勤勉という言葉の重要性については、マックス・ウェーバーから学ぶことができます。マックス・ウェーバーは19世紀から20世紀にかけて活躍したドイツの代表的な社会学者です。

彼は二つの点において有名です。一つは、社会科学あるいは学問について客観性を主張したこと。彼は、主観的な価値判断を学問の世界に持ち込むのは間違っていて、学問というのは厳密な客観性を持たなければならぬと説いたわけです。その後、この点については、価値判断論

ラー社の会長として以前活躍したアイアコツカさんは次のように言っています。

「努力するのだ。砥石(といし)に磨きすりつけてでも努力する根性があるなら、自由な社会の中では、驚くほど確実に、自分の到達したい所までいける。砥石とは包丁などの刃物を砥ぐときの道具です。皆さんには、さびつくり、努力して自分を磨き、むしろ磨り切れるぐらいに前に向かって進んでいってほしいと願います。

以上、私は「勤勉と努力」という言葉の重要性を述べました。勤勉と努力は時代を左右されない普遍的な精神であると信じております。本来、私たち日本人が受け継いできた、日本人の胸に宿っている精神であると言えるのではないのでしょうか。

本日の卒業式では、さまざまな精神論の中の基本的な言葉を取り上げました。皆さんには、これまで大学生活を経験し、知識や考え方を学び、知力を高められたものと信じます。この知力の重要性は当然のこと



福岡大学長 衛藤 卓也

平成22年3月19日

として、それ以上に、精神・心構えが非常に大切であると私は言いたいのです。勤勉や努力といった精神も、皆さんの人生の道しるべとなり、生きる力への強い味方となるべく、皆さんが強い意志を持って何事にも励み、家族や地域、日本の社会を支える支柱として活躍されることを切に願っております。

最後になりましたが、ご父母の皆さまには何かとご支援とご協力をいただき、本当にありがとうございます。心から感謝申し上げます。

それでは、卒業生の皆さん、皆さんの前途が大きく開かれます。また、良き人生を歩んでいかれますよう、お祈りして、私の式辞といたします。



1980(昭和55)年、本学医学部を卒業した廣瀬先生。壁用しているのは、オリジナルカラーの小児用聴診器。不安な子どもたちの心が明るく少しだけでも癒れるように、という廣瀬先生の優しさが感じられます。



「てんかん分子病態研究センター」には、廣瀬先生をはじめとする研究グループの論文発表による助成金で導入された高額機器が並び、世界トップレベルの研究が行われています。



臨床現場の経験を生かした研究で
子どもたちや社会を救いたい。
廣瀬 伸一

福岡大学医学部小児科 主任教授
てんかん分子病態研究センター長
福岡大学病院総合周産期母子医療センター部長

「何とかして助けなければ」
その気持ちがすべての原動力

小児科の臨床医でもある廣瀬先生は「人の役に立つ研究でなければ意味がない」との信念を持ち、常に臨床に軸足を置き、

「てんかんモデルラット」の作製成功により、さまざまなてんかんの個別病態に基づいた基礎研究が可能になりました。てんかんの病態解明研究分野での実用化、特に治療の創薬研究での需要が見込まれるため、市場価値も合わせて明るい展望が開けています。

さらに廣瀬先生は、福岡大学がライフサイエンスの要である医学部、薬学部、理学部がそろった総合大学である利点を生かして、てんかんの研究基盤の充実、強化を図るとともに、継続研究が推進できる拠点として機能することを目的に、06年「てんかん分子病態研究センター」を開設しました。

同年度の文部科学省が推進する「ハイテク・リサーチ・センター整備事業」に選定された本センターでは、日本全国から遺伝子を収集してその分子生物学的な原因追究を行い、これまでに約40種類以上のてんかんの発症に関係するイオンチャネル異常を見出し、この分野では世界水準の研究レベルを誇っています。

「てんかん分子病態研究センター」で
てんかん研究に新たな展開

ね、その研究成果を次々に論文にし発表していきました。そうした活動は多くの専門家を魅了し、スタート時は世界で3つしかなかった研究グループが、今やアジアを中心に約30グループを数えるまでに増えているそうです。

小児科疾患の分子生物学 および細胞生物学的研究

世界初、てんかん治療に
新たな可能性をもたらした
「てんかんモデルラット」

「てんかん」は脳神経の異常興奮に基づく発作を特徴とし、さまざまな原因によって発症します。特に小児期に多く見られ、熱性けいれんを含めると国民の約2%がかかるという最も多い神経疾患の一つです。しかし、多様な臨床症状が伴うことから、古くから知られているにもかかわらず、その分子生物学的な病態はほとんど分かっていません。

そんな中、廣瀬伸一先生はてんかんの分子レベルでの研究、特に病態解明や新薬創製の実験に急務であった、人間と同じ変異遺伝子を持つ遺伝子改変動物の作製に力を注いできました。そして2008年10月、遺伝子を組み換えることで人間と同様のてんかん発作が起きる「てんかんモデルラット」の作製に世界で初めて成功したのです。

「これまでは、けいれんなどの発作を抑える治療しかできませんでしたが、新たなラットを利用することによって、病気のものを治療できる新薬や予防薬の開発も夢ではなくなりました」と廣瀬先生は目を輝かせます。

15年の研究の積み重ねに
世界中の専門家が注目

「てんかん治療を専門にしていた前教授から引き継ぐ形で、私がてんかんの研究を

てんかんの発症病態の解明研究に取り組んできました。

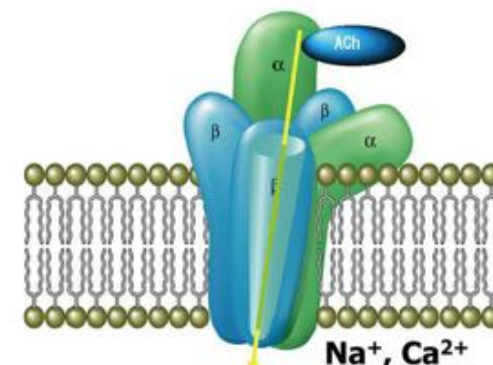
「最初のころは、どんなに研究論文を発表しても誰も興味を示してくれませんでした。研究費も少なく、思うように研究もできなくてやめようと思ったこともありました。でも、実際に苦しんでいる子どもやご家族の方を目の当たりにするたび、何とかして助けなければと気持ちが奮い立たされました。」

そもそも、先生が医師としての将来に小児科を選択したのは、腹痛や風邪、時にはけがなど総合的に診療できる小児科医に「お医者さんの原点を見たからだ」と言います。

「子どもの治療力には驚くべきものがあり、彼らが健康を取り戻していく姿は、医師としてのやりがいを感じていく姿です。私はこれからも、臨床医として直接に患者さんと接しながら実際の治療に役立ち、社会に還元できる研究を続けていきたいと思っています」と話す廣瀬先生こそ、生命力に満ちた子どもたちに負けないくらいのバイタリティの持ち主なのです。



海外からも注目を集めている廣瀬先生の研究室には、国内の他大学をはじめ中国や韓国など外国からの研究員・留学生が多数在籍しています。



神経細胞膜には、ナトリウムチャネル、カリウムチャネル、カルシウムチャネルなど、さまざまなイオンチャネルが存在し、神経細胞の興奮や抑制などを調節しています。幾つかのてんかん発作で、中枢神経のイオンチャネル異常が発見され、多くのてんかんがチャネル病であることが明らかになりました。

COLUMN

創 はじめ

子どもたちを救いたい
—地域の小児医療再生でも成果—

昨今の小児科医師の不足から「患者の受け入れ不能」「医師の勤務環境の悪化」「小児科の閉科」など、深刻な社会問題になっています。廣瀬先生は小児医療の現状と問題点を科学的観点から検証・分析し、チーム医療や外部医師の導入など、地域小児科の再生を図る新たなシステム構築の研究を行っています。09年に行った福岡県大川市の私立病院改革の成功事例をモデルケースに、地域の小児医療を救う具体的な事業の一つとして他地域への展開を始めています。

参加者の声



責任感を持って働く女性の姿が目標に

2年次の「キャリア教育講座」では、自分の長所や短所、何に興味があるのかといった自己分析をしていく中で、結婚や子育てなどでライフステージが変化しても、生活と仕事の両方を充実させていきたいという自分の思いを見つめることができました。

インターンシップ先には、女性の活躍が目覚ましい再春館製菓所を選択。お客さまへの提案を考えるワークショップでは、目先の対応を考えてしまう私たち学生と、お客さまが求めていることの根本を考えて提案する社員の方々の差を痛感しました。責任を持って生き生きと働く女性社員の方々とお会いすることができ、より具体的に将来の働き方について考えることができました。

福成 知子 さん (商学部商学科4年次生)
インターンシップ先: 株式会社再春館製菓所
(化粧品、医薬部外品、医薬品の製造・販売)



インターンシップ後に届いた、社員の方による手作りのアルバム。「心遣いに感動しました」と福成さん。

担当者から各部署の説明を受けながら社内見学をする福成さん(写真左)。他大学の学生など約20人が参加していた。



参加者の声



仕事を通じて社会に貢献していきたい

「キャリア教育講座」では「働く」という意味を深く考えることができたと思います。「好きなことを追究する性格」という自己分析の結果をもとに、自分が好きな「文章を書く」ということを仕事にできる編集・広告制作会社のピーアンドシーで、5日間のインターンシップを体験しました。実際に取材に同行し、西日本新聞に掲載される広告記事を書くという貴重な経験をさせていただきました。そこでは、ただ表現すればよいのではなく、新聞の記事として掲載される重みや責任を考えなければいけないことを学びました。このプログラムを通して、働くことは生活のためだけでなく、社会に貢献していくことなのだという考えが加わりました。

小柳 成子 さん (商学部貿易学科4年次生)
インターンシップ先: 株式会社ピーアンドシー
(新聞編集・広告制作)



小柳さんが書いた記事は実際に西日本新聞紙面に掲載されました。

取材に同行し会話をメモに残す小柳さん(写真中央)。一つの仕事をやり遂げるためには、一つ一つ丁寧な作業が大切だということを学んだ。



《プログラムの主な流れ》

1・2年次

「キャリア教育講座」

- ①「課題発見・解決能力」「コミュニケーション力」とはどんな力なのかを理解する
- ②社会・就職活動時に求められる力を認識させる
- ③自分の興味・関心・価値観・才能を見つけ、理解する
- ④インターンシップ先を選ぶ「手掛かり」を得るために、仕事とは何かを理解する
- ⑤これからの大学生活をどのように過ごしたらいいのかを考える

3年次

商学部正課授業

「インターンシップ」

直前に控えたインターンシップのために

- ①エントリーシートの書き方について学ぶ
- ②面接についてのノウハウを学ぶ
- ③企業情報収集・活用法を学ぶ

インターンシップ参加

キャリア教育に対する 教員の意識も向上

「このプログラムへの取り組みを通して、商学部の教員全体にキャリア教育への意識が高まったことも大きい」と笹川教授。中村教授は「社会からキャリア教育が求められているのは、学ぶ側だけでなく教える側にも問題があったからだと考えています。キャリア教育として就職を強く意識させる講義を行えばいいわけではありません。今学んでいることが社会とどう繋がるのかのヒントを与え、学ぶ楽しさに気付かせることで、学生が主体的な学びに取り組むようになることが重要なのです。つまり、教育のあり方そのものについての意識変化が求められているのです」と語ります。

平成21年度 本プログラムでの インターンシップ先企業等

植田会計事務所、エフコップ生活協同組合、株式会社亀の井ホテル、株式会社再春館製菓所、住友商事九州株式会社、鳥飼ハウジング株式会社、株式会社ナフコ、日本生命保険相互会社、株式会社ピーアンドシー、福岡市消防局、株式会社やすや、株式会社ユーコー、株式会社読売新聞西部本社 (五十音順)

こうしたキャリア教育に取り組んできたことで、学生の皆さんは大学で学ぶことに對する目的意識を明確に持つようになり、また商学部の教員にも意識の変化を促す、好ましい教育循環を生み出しているのです。



商学部「特色ある教育」

キャリア教育と インターンシップの連係

キャリア教育の早期取り組みによる
学生の主体性の育成・支援プログラム

社会と学びの繋がりを体感することで、
目的を持って主体的に学ぶ姿勢が身に付く。

インターンシップを通して 学生が大きく成長

近年の厳しい雇用情勢の中、将来を担う若者の職業意識や勤労観を育成し、自立できる力を身に付けさせることが求められています。このため学士課程教育におけるキャリア教育が重要視されています。本学商学部では、キャリア教育の一環として、インターンシップを取り入れた教育プログラムを実施しています。

「インターンシップを正課授業に取り入れたきっかけは、現代の情報化社会に生きる学生の皆さんに、実際の体験を通して学びを提供したいという思いがあったからです。しかし、ただ単にインターンシップで現場体験することが目的ではありません。インターンシップ前に履修する講義を通して学んだ知識を、より実践的な形で経験・体得し、将来の目標を明確にすること。これにより必要な学びは何かを自分で考え、主体的に取り組む姿勢を身に付けることこそが目的なのです」とプログラムの立ち上げに尽力した中村信博教授は語ります。



中村 信博 教授

このプログラムの特色は2年間にわたった2つの講座で構成されている点。正課授業である「インターンシップ」という科目を受講するためには、前年度に必ず「キャリア教育講座」を受けなければなりません。これは正課授業ではありません。このプログラムの特色は2年間にわたった2つの講座で構成されている点。正課授業である「インターンシップ」という科目を受講するためには、前年度に必ず「キャリア教育講座」を受けなければなりません。これは正課授業ではありません。



笹川 洋平 教授

平成20・21年度の本プログラムを担当した笹川洋平教授は「社会に求められる能力とは、問題解決力や幅広い教養などの知的能力に加えて、熱意、チャレンジ精神、コミュニケーション能力やリーダーシップといった行動力など、その重要性を学んだ後に、インターンシップで実際に自分の力を試してみる。この体験が学生を大きく成長させています」と語ります。インターンシップに参加した学生のレポートには、「もっとこうすれば良かった」という反省がびっしりと書かれているとのこと。「しかし、それこそが成果だと考えています。いつもと違う社会に身を置き、やるべきことを自分で考え、気付けたことが大切なのです」とも。

時は流れて

一冊の本との出会いが、
人生を変えることがある。
図書館という場は、
そんな運命の出会いを創る、
希望に満ちた場所。
多くの学生たちが、
ここから新しい世界へ、
そして学問の深淵へと
向かっていった。
新たな知への扉は、
いつの時代もここにある。

2010

約40年もの間、
多くの学生を見守り続けた。



2012 春 新中央図書館が誕生します！

教育・研究のさらなる発展にふさわしい設備と外観を備えたシンボリック施設となる新中央図書館棟(仮称)が、2012年春の竣工に向けて今年3月着工しました。

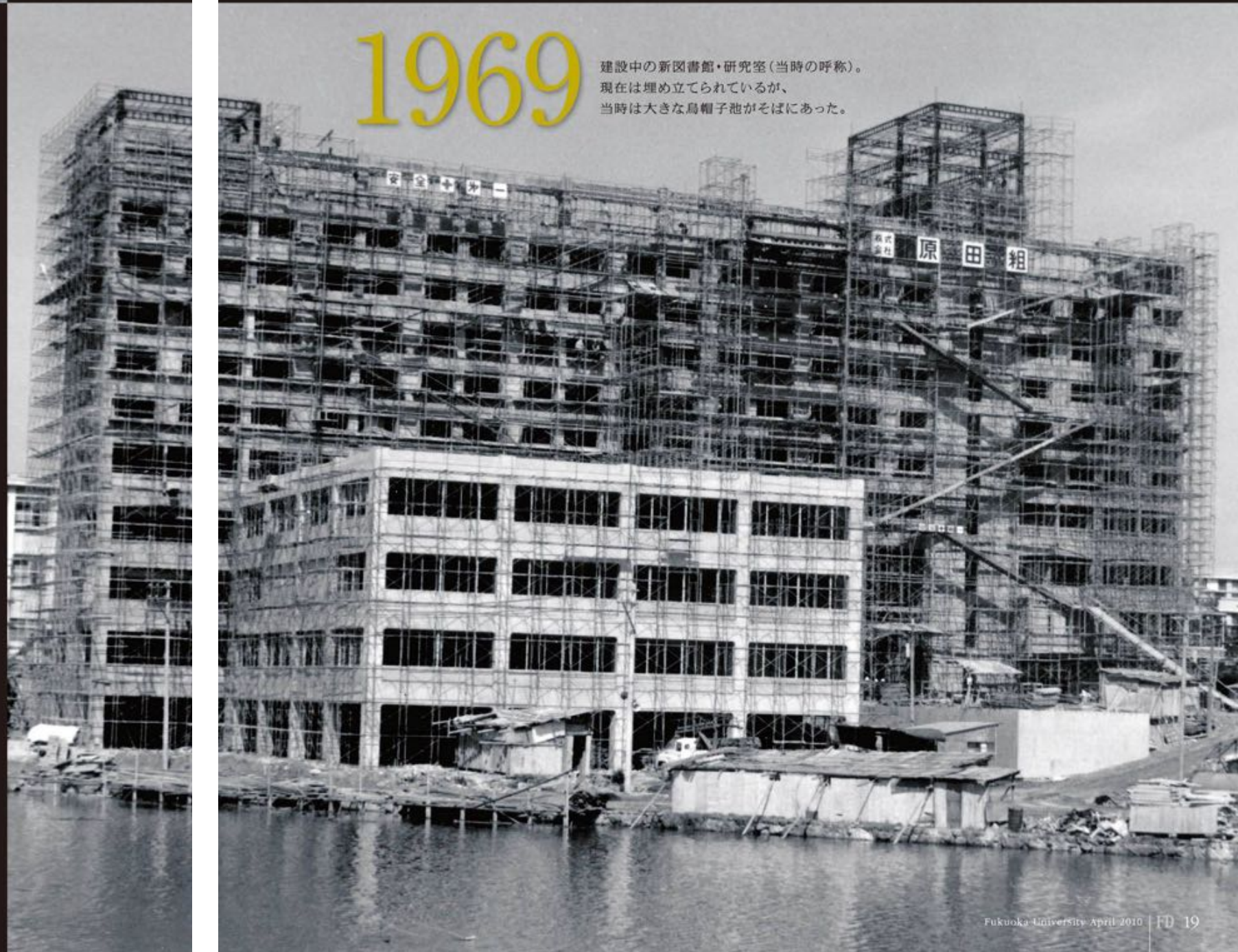
建物は図書館・大学院・福利厚生の諸施設を含めた地下1階、地上7階建て。図書館の閲覧エリアは十分なスペースが確保され、地下には大学図書館としては日本最大級の自動化書庫が設置される予定です。1階にはシンポジウムなどに利用できる多目的ホールやライブラリラウンジを配置し、2～4階の閲覧エリアの周りには、グループ学習室やガイダンスなどを行うための情報サービス室を設置します。また、各階に学習や調べものの途中で気分転換を図るリフレッシュコーナーも配備。

機能面が向上するだけでなく、新たな魅力がつまった新しい図書館が誕生します。



1969

建設中の新図書館・研究室(当時の呼称)。
現在は埋め立てられているが、
当時は大きな鳥帽子池がそばにあった。



マイクロソフト株式会社

ホーム&エンターテインメント事業本部
ゲームコンテンツ推進部 部長兼IEB企画室 ディレクター

浦田 樹一郎 さん

福岡大学経済学部産業経済学科1992年卒業



XBOX

Windowsの開発で広く知られ、世界最大のコンピュータ・ソフトウェア会社として名高いマイクロソフト社。浦田樹一郎さんは、ここで家庭用ゲーム機「Xbox 360」対応ゲームコンテンツの営業を担当しています。アメリカ本社と日本のゲーム会社をつなぐ架け橋となり、「数多くのコンテンツ獲得」という誰も成し得なかった功績が評価され、昨年「ビル・ゲイツ賞」を受賞しました。これは、全世界9万5千人もの社員のうち年間17人にしか与えられない最高の栄誉。

世界のマイクロソフト社で「ビル・ゲイツ賞」を受賞

「授賞式後のデイナーではCEO（最高経営責任者）のステイプ・バルマーの隣席になり、直接称賛の言葉を掛けられ夢のようだった」と話す浦田さん。その晴れやかな笑顔の裏には、さまざまな苦労がありました。

マイクロソフト社に入社（転職）したのは8年前。「ゲーム業界に身を投じるのもこれが初めての経験でした。日本のゲーム業界は、ゲーム王国と呼ばれるほどの活気。外資系企業の参入は厳しく、当時は会社も低迷期で、導いてくれる人もい

ないし、何も分からない状態だった」と言います。

朝起きるのもつらくなる日々、心配した幼い子が「パパ、大丈夫？」と言葉を掛けられます。その優しい言葉に布団の中で涙した浦田さんによりやくスイッチが入ります。持ち前のチャレンジ精神と行動力で、来る日も来る日もゲーム会社を熱心に回り始めました。次第に彼の仕事への情熱や人柄が相手に理解されるようになり、ついにはゲーム業界のキーパーソンとの信頼関係、強い「絆」が作り上げられていったのです。

新たな扉を開いた海外留学での経験

実は、かなりのスポーツマンだという浦田さん。幼い頃は野球一筋でした。しかし、大塚高校時代に甲子園出場を目指しながらも退部。その後は全てのやる気を失い、高校3年の夏には担任の先生から「このままでは合格できる大学はない」と言われるまでに。人生で初めて挫折を経験します。「これは何とかしないとイケない」と一念発起し、受験勉強に全力投球。見事、福岡大学合格を勝ち取りました。

順調にスタートするかと思われた大学生活でしたが、ここでも挫折。目標を見失ってしまっています。そんな浦田さんを救ってくれたのがサーフィン。そして仲間との出会いでした。仲間たちの影響でアメリカの大学へ留学した浦田さん。そこで英語力に磨きをかけるとともに「規則正しい生活ができてこそ初めて健康な身体と精神が養われ、協調性や社会性までも身に付いていく」ことを学んだそうです。この経験は、社会人になってからの仕事への取り組み方や人との付き合い方の基本になっていると言います。

また、帰国後は「今の自分があるのは福岡大学のこの方たちのおかげ」と感謝する恩人たちの出合いが待っていました。「ゼミの施設教授にはそれまでの自分の甘さや傲慢さを正していただき、当時の就職課



大学時代のサーフィン仲間と。この時結成されたサークルが後の福大サーフィン愛好会の母体となった。

小さな自己実現の積み重ねが将来の成長につながる

就職活動に励み、念願が実現した外資系航空会社に就職した浦田さんは、お客さまのクレームに対応するセクションに自ら志願。過酷な業務ながらも人と接することの面白さを学び、その後、セールスプロモーション、法人営業部などさまざまなセクションを経験していく中で、VIPをはじめとする多くの方々との「絆」を築き上げていきました。

「目の前のことをおろそかにせず丁寧に取り組み、人とのつながりも自然と広がっていく」。そうした信念のもとに築き上げていった「絆」が縁で、マイクロソフト社の

重役から誘われ、現在の職場へとたどり着いたのです。

最後に、学生の皆さんへのアドバイスをお願いしたところ、母校に恩返しをしたいと浦田さんは熱い思いを込めて次のように語りました。

「大切なのは自分の個性を認識して、自信を持って突き進んでいくこと。それには、自分がどういう人間なのかを深く掘り下げていく。そうすると自分の強みや長所が分かってくる。おのずと自分を生かせる場所が見えてくる。最初から無理して大きな夢を持たなくてもいい。昨日より今日の自分、今日より明日の自分というように、小さな自己実現の

積み重ねが将来の成長につながる。まずは、日々少しずつ努力することから始めてみる」と。



週末は少年野球チームのコーチとして汗を流す浦田さん。昨年、チームは全国大会で準優勝を成し遂げた。



09年のマイクロソフト社年間最高賞となる「ビル・ゲイツ賞」を受賞。浦田さんの左側に立つ人物がCEOのステイプ・バルマー氏。



副賞として贈られた時計。裏には「K.U With thanks B.G.」の文字が刻まれている。「B.G.」はもちろんビル・ゲイツ氏のイニシャル。

就職・進路支援センターからの お知らせ

Message

就職・進路支援センター長
中村 信博 教授

学生生活はキャリア(人生)を
構成する大切なパーツです。

「キャリア」という言葉にはさまざまな意味がありますが、私は「人生そのもの」と広義で理解することが大切と考えています。「人生」という全体をより豊かで楽しいものにするために大学に進学したわけですから、その人生全体を構成する大切なパーツである学生生活を充実させることに全力を注ぎましょう。就職するための近道などあるはずもなく、地道に本来大学生としてなすべきことを着実にこなしていく事こそが大切なのです。

え、何ですか? 「では、大学生としてなすべきことを教えてください」です。正解をすぐ教えてもらおうという姿勢は問題です。

それこそ、まず、自分で考えましょう(経済産業省「社会人基礎力」が参考になるかもしれません)。次に、自分の考えを、親・友人・教職員、いろんな人に、きちんとした言葉で語り掛けてみましょう。そして、良い刺激を受けて再び考えるのです。この繰り返しのプロセスが大学で学ぶ際に、さらには生きていく上でも重要なのです。

「就職の準備を始めよう!」とは、「きちんとした学生生活を始めよう!」ということです。将来いつの日か、大学時代を振り返ったときに、決して後悔することのない毎日であってほしいと願っています。

支援行事

就職・進路支援センターでは、就職や進路支援についてのいろいろな行事を開催しています。1年次から積極的に参加し、自らの目標に向かって充実した学生生活を送りましょう。

詳しくは、ホームページやFUポータルをご覧ください。

(ホームページ)

<http://www.adm.fukuoka-u.ac.jp/fu818/home1/index.htm>

就活日記 My チャレンジ

先輩たちの経験を参考に、未来の自分を見つけよう。

SUCCESS 1

社会で何をしたいかを見定めると
揺るがない目標ができる。

業界研究を深めながら
気づいた思い

「一番やりがいを感じるの、お客さまが『ありがとう』と言ってくれた時ですね。求められたことにお応えできた達成感が込み上げてくるのです」。そう語る森本さんが金融機関への就職を目指ようになったのは、就職活動を始めてしばらく経った頃。「最初はさまざまな業界の説明会に参加していたのですが、次第に『銀行へ』という思いが強くなりました。中学生の頃から抱いていた『誰かの役に立つ仕事したい』という思いと、公共性の高い銀行で働くことが重なってきたのです。自分の思いを確かめながら、業界研究を深めたことで、森本さんの中で確かな目標ができ上がりました。

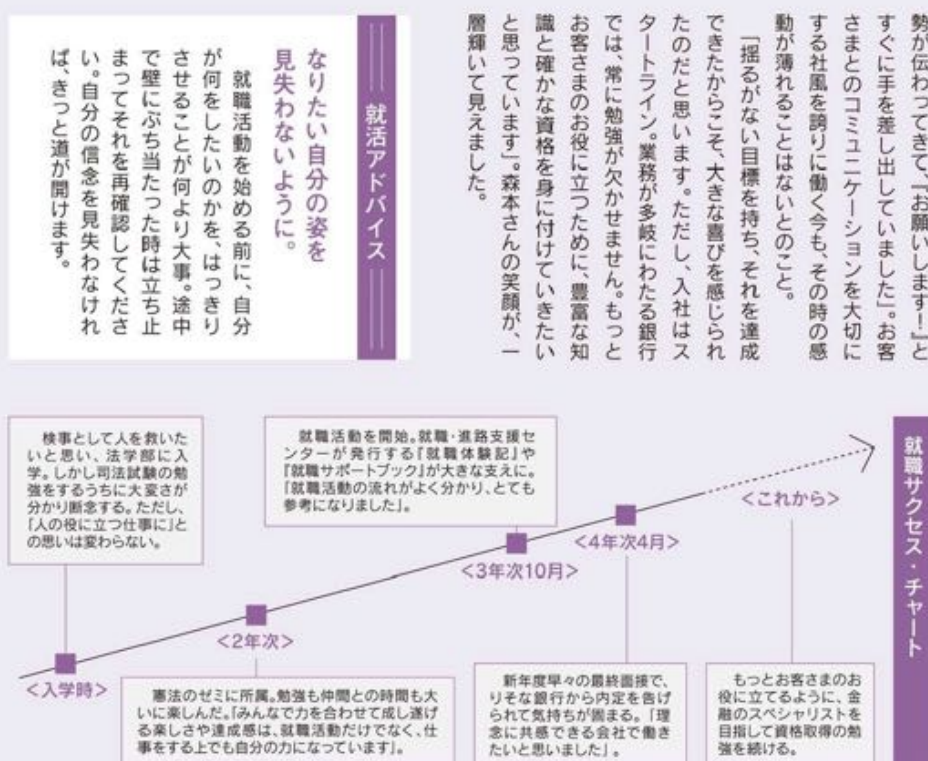
それからは、自分のセールスポイントや熱意をいかに伝えるかが森本さんの課題に。それには、2年次ゼミでの経験が自然に森本さんの力になっていったそうです。「ゼミの仲間と七隈祭に出店し、企画から当日の運営まですべてにおいて中心的役割を担う中で、人任せにせず主体的に動けるようになっていきました。周りの人に考えを伝えながら成し遂げたことが大きな自信になりました。また、簿記や金融論など、法学部以外の講義も選択し、金融の流れを理解してい



株式会社りそな銀行
法学部法律学科
2008年卒業
森本 洋平 さん

理念に共感できる会社で
働く喜びを感じて

内定は本社で行われた最終面接で笑顔が印象的だと言われた直後に、その場で「うちに来てください」と握手を求められる感動的なものだったそうです。「自分を認めてもらえた嬉しさが込み上げると同時に、人を大切にする会社の姿



SUCCESS 2

考えるだけでなく行動すること。
道はそこから見えてくる。

真剣に教師を目指す
仲間との時間が力に

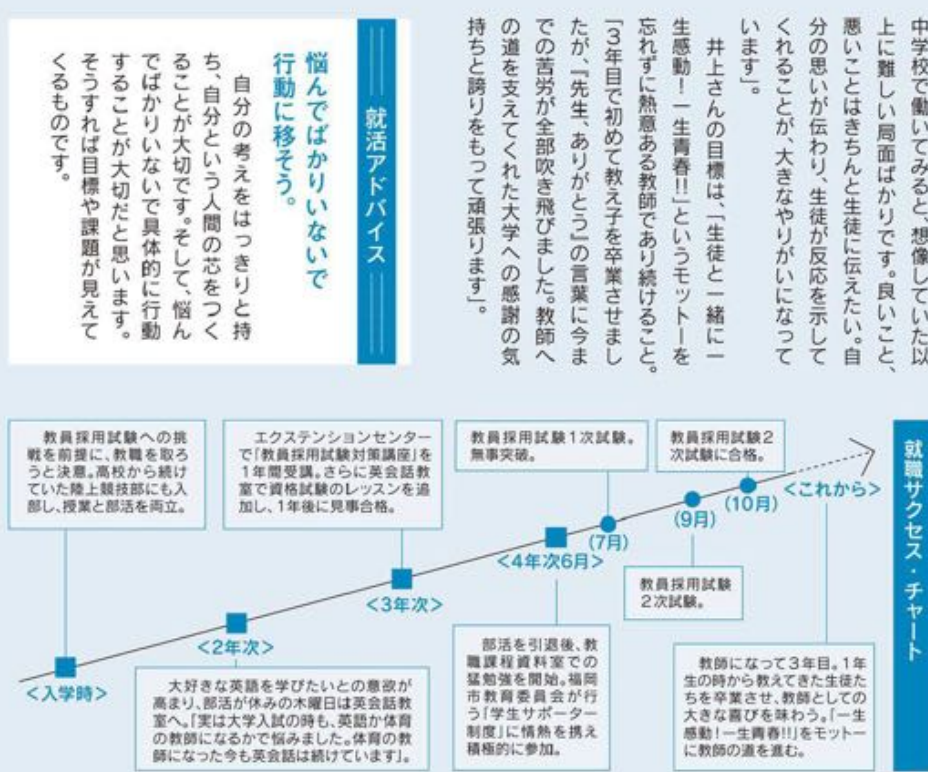
井上さんの就職活動は、教師への道を一途に目指したものでした。大学入学後は勉強や陸上競技部での活動をしながら、行動を始めることが大事だと考え、3年次に毎週エクステンションセンターで「教員採用試験対策講座」を受講。4年次の6月に部活を引退してから、教職課程資料室に毎日通って、朝から夜まで机に向かいました。そこは、真剣に教師を目指す仲間が学部を超えて集まる場所。集中できる最高の学習環境でした。先生方もさまざまな形でサポートしてくださり、とても感謝しています。また、仲間同士でも面接の練習をし、お互いに表現力を高めることができました。教師を目指す方にはぜひ通ってほしいですね。

そもそも井上さんが教師を目指すようになったのは、とても自然なことでした。一緒に暮らしていた祖父が教師だったので、その凛とした姿に憧れるようになり、また、中学の時の恩師にも大きな影響を受けました。

教師としての理想を
しっかりと持つ大切さ



福岡市立
片江中学校 教諭
スポーツ科学部スポーツ科学科
2007年卒業
井上 真梨 さん



知っていますか？

知っているようで、実は知らないさまざまなトピックスを取り上げて解説

「村上春樹」

Haruki Murakami

新刊長編『1Q84』が社会現象とも呼ぶべき注目を集めている作家「村上春樹」。
作品の魅力は何か？どんな作家なのか？
人文学部日本語日本文学科の三嶋譲教授に
分かりやすく教えてもらいました。

早分りチャート

村上春樹主要作品(長編小説)

- 1979年
『風の歌を聴け』
デビュー作。現代アメリカ文学の影響を強く感じさせる文体は当時、鮮烈な印象を与えた。
- 1982年
『羊をめぐる冒険(上下巻)』
独特の比喩表現がますます冴えわたり、村上春樹が描く不思議な世界観はここから始まった。
- 1985年
『世界の終りとハードボイルド
ワンダーランド(上下巻)』
「村上の描きたいことが見事に表現されている」と絶賛する三嶋教授おすすめの1冊。
- 1987年
『ノルウェイの森(上下巻)』
村上春樹が挑戦した「100%の恋愛小説」。広く一般の読者に受け入れられ、記録的なベストセラーに。
- 1994年～95年
『ねじまき鳥クロニクル
(第1部～3部)』
村上ワールド満載の長編大作。この作品で村上ファンになった人も多い。
- 2002年
『海辺のカフカ(上下巻)』
村上春樹のテーマ「生と死」が徹底に流れた大人のためのファンタジー小説。
- 2009年～2010年
『1Q84 (BOOK1～3)』
J・オーウェルの未来小説『1984年』をヒントに書いた7年ぶりの長編小説。1・2巻は244万部を超える大ベストセラーに。



先生から一言

大学時代は本をじっくりと読める絶好のチャンス。卒業したらその時間がなかなか取れなくなります。大切なものは、自分で探した本を読むこと。書店や図書館で自分の興味のとくまに、まずは手に取ってみてください。



人文学部日本語日本文学科
三嶋 譲 教授

今年は「国民読書年」です



三嶋教授の教養ゼミ「村上春樹を読む」では、学生の皆さんが作品を読んで、それぞれの見解や意見を交わし合います。「村上春樹の作品は考えるところが多いので、ディスカッションに最適。みんなが考え、みんなで話し合う時間は掛け替えのないものです」と三嶋教授。

人間の心の奥底にあるものを 明るみに映し出す村上作品

村上春樹の作品に多く見られるのは、過去を抱えながら生きる主人公が行方不明になった「何か」を探っていく展開です。

面白いのは、そのストーリーを二つの世界で繰り広げていく手法。こちら側の「現実世界」とあちら側の「不思議な世界」で話が進み、次第に二つの世界が距離を縮めていきます。ところが、物語の重要なカギを握る存在は「羊」や「ミクロ」といったあいまいなものとして登場するため、謎は深まっていきます。このようにミステリーの要素を盛り込み、読者を物語の世界に引き込むのが、彼の最も得意とするところです。しかし、作品の中で最終的に「探している何か」は明らかにせず、読者に考える余地を与え、解釈を一人一人に委ねる

近代の日本文学が 失っていた物語性を復権

村上春樹は、日本文学の固定観念を取り払った作家です。伝統にこだわらず、独特の比喩、具体的な曲名や料理を情景描写に織り交ぜ、読者を小説の世界に引き込むことが非常に上手い。その理由は彼がアメリカ文学を栄養として育った影響が大きいでしょう。アメリカ文学はエンターテインメン

す。読者は答えの出ない不安に向き合いながら、自分の心の奥に浮かんだものを言葉にしようと試みるのです。村上作品の魅力は、簡単に答えを出さないことにあるともいえるでしょう。そうすることで、現代を生きる私たちの心の奥底にある不安や孤独、そして生きる世界の理不尽などを、小説の中に映し出そうとしているのです。

ト性が強く、物語としての面白さを追求した作品が多くあります。一方、日本文学は個人に焦点を当て、人間の苦悩を描く私小説という伝統のスタイルがあり、それに縛られて、物語としての面白さを失っていた部分がありました。しかし面白くなければ読まれない、読まなければ文学ではない、そう思いながら物語性を復権させ、多くの読者を文学に振り向かせたことは、村上春樹の功績といえるでしょう。人間は生きていくうえで、何が起るか分かりませんし、行き先も分かりません。つまり、生きることは「物語」そのものの。それを可視化するのが文学なのです。私たちが人生で体験できる物語は一つだけですが、文学を通して何十倍、何百倍もの疑似体験をすることが出来ます。物語の面白さに満ちた村上作品をきっかけに、文学の世界に一歩足を踏み入れてみませんか。

Fの鼓動

動いている。聞こえてくる。学生たちの熱い鼓動が。

難病という人生のハードルを
乗り越え、奇跡の復活。
そこにはみんなの
力強い支えが。

トッパススリートを襲った 突然の病魔

400mハードル競技で高校総体、日本ジュニア選手権、国体の3冠を制覇。名実ともにトッパススリートだった澤田実希さんは、鳴り物入りで福岡大学に進学。「鍛えればさらに伸びる、誰もが期待していた矢先だった」と陸上部コーチの山崎一彦先生は4年前の衝撃を振り返ります。澤田さんは難病とも言われる慢性腎炎の一つ「IgA腎症」を発症。その症状の重さから「99%競技復帰は無理」と告げられました。「どうして、どうして私が……」。彼女は絶望のふちに立たされ、涙が止まらなくなったと言います。その後2年間、一



福岡大学病院 腎臓・膠原病内科の小河原悟先生。「あくまでも彼女の競技復帰は極めて特殊なケース。これからも万全のサポートをしていきます」。

同時に、発病後の治療やトレーニング経過をまとめた症例研究に澤田さん本人自身も参加。3年次の秋、週に一度の検査と適切な運動指導を条件にトレーニングを再開。「前例のない試み。検査結果を参考に、澤田自身が体の状態と向き合い練習内容を調整していった」と山崎先生。「必ず復活する」とひたすら信じ、努力する日々。そして本格的な競技復帰を目指し、大学院に進んだ2009年、全日本インカレ第3位、国体では自己最高記録更新と、澤田さんは見事トッパススリートへの復活を果たしたのです。

自身の症例を分析・考察し学会へ 名誉ある「学会研究賞」を受賞

切の運動を休止し、過酷な治療に専念。しかし、澤田さんは「絶対にあきらめない」という強い気持ちを持ち続けました。そんな彼女の熱意に振り動かされ、競技復帰に尽力した一人が福岡大学病院の小河原悟先生でした。「激しい運動は腎機能を低下させるので、反対するドクターがほとんど。ただ、彼女の運動能力ははずば抜けていたし、何より強い気持ちがあった。彼女なら奇跡を起こせるかもしれないと感じた」。



研究の指導に当たったスポーツ科学部の田中守教授(左)と山崎一彦准教授(右)。「日本トレーニング科学学会」での受賞は非常に名誉なこと。「澤田さんがなぜ復活できたのか。トレーニング科学と医学の観点から因果関係をさらに調べる価値は大きい」と田中教授は今後の研究にも期待を寄せます。

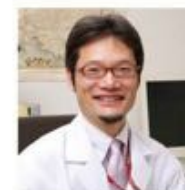
が着手。昨年の12月「IgA腎症を発症したアスリートが競技復帰に至るまでの事例研究」女子400mハードル選手の事例として論文を「日本トレーニング科学学会」で発表し、見事「学会研究賞」を受賞しました。「病気は完治したわけではないし、この先どうなるかも分からない。だからこそ走る瞬間の喜びは大きい。私を力強く支えてくれた先生方、友人、家族など多くの人に感謝している」。

つらさ乗り越えた経験を糧に、澤田さんはこの先、どんなに高いハードルが立ちあがったとしても、きつと勇敢に跳び越えていくことでしょう。



意識してみよう「食」と「身体、心」とのつながり

人を良くする「食」の基本を学ぶ



薬学部
臨床心身治療学教室
小山 進 准教授
博士(医学)

「食」という漢字は、「人」を「良」くすると書きます。私たちが日ごろ何気なくしている「食事」。実は、あなたの身体と心に大きな影響を与えています。「食」と「身体、心」とのつながりについて、薬学部の小山進先生に伺いました。

健康情報が氾濫する現在、カロリー計算などの身体の外からのアプローチに注意が向きがちですが、食にまつわる身体の内からのアプローチに関して3つの話をしたいと思います。

典座教訓(てんざきょうくん)

道元禅師の『典座教訓』の典座とは、食事・湯茶を担当する僧を指します。本書には、食事に対する心得が懇切丁寧に述べられています。「心身脱落」の境地を目指す一方で、健康に十分配慮をする道元禅師の偉大さがうかがえます。本書の食育に生かせるコンセプトとして、「意識的であること」を挙げたいと思います。料理の色、香り、味、歯応え、器の手触り、食卓の雰囲気はどうでしょう。口に詰め込み過ぎていませんか。さて、昨日の夕食は何品だったか覚えてますか？

腸・脳相関とセロトニン

セロトニンという物質は気分や感情の調節に重要で、うつ病では脳内のセロトニン調節がうまく

太古の人類

太古の人類の食はどうだったのでしょうか。農耕以前は狩猟採集しかなく、何日も食物が手に入らないことも多かったと想像できますが、意識的消化、元気が衰えたとは思えません。人類が存続していることからみて、彼らは健康だったと思います。辛抱強く粘り、最後には獲物を仕留めたでしょう。

ちなみに、厚生労働省の調査では、男性で肥満傾向が目立ちます(下図参照)。草食男子・肉食女子という言葉が流行っていますが、

この統計からは、満腹男子・空腹女子の存在が疑われそうです。わが男性陣の健康伝子は、豊かな食環境の中で眠ったままなのかもしれません。



ワンポイントアクション!

食育に関する今回の話のエッセンスを標語にまとめてみました。実践に役立ててください。

見た、嗅いだ、味わった

せめて週に一度は、五感を働かせてゆったりと食事を取りましょう。

ふと、ふと具合より、はら具合

体育会系は「はら具合。みそおちに注意を向けると、今の自分の気持ちに素直になれます。

わたしの中のワイルドネス
時にはお腹を空っぽにして、タフ通信をONにしてみてください。特に、男性諸君!

もっと知りたい!

道元禅師の『典座教訓』をもっと詳しく読みたい方にはこちらの書籍がおすすめです。
藤井宗哲 訳・解説
『ビギナーズ 日本思想 道元(典座教訓)』
(角川学芸出版 角川ソフィア文庫)

健康管理センターから学生の皆さんへ
「肥満」の改善に向けて医療スタッフがサポートする「スリム教室」を今年も夏頃に開催します。詳細はFUポータルでお知らせします。

BOOK

私の とっておきの 一冊

『Queen』食卓から始まる生教育



吉富 さやか さん
スポーツ健康科学研究科2年次生

「私はあなたを愛するために生まれてきました」

これはイギリスのロックバンド「Queen」の代表曲のタイトルです。皆さんはこの言葉を聞いた時に、どのようなことを思い浮かべますか？

私が紹介する「Queen」という本は、福岡県内の産婦人科医院で助産師として働く内田美智子さんが、生命の尊さについて、心に響く言葉で私たちに伝えてくれる本です。毎日多くの生命の誕生に立ち会ってきた内田さん。初めてわが子を抱いた母親たちは「私はこの子を産むために生まれてきた。この子のためなら何でもできる」。そう実感するのだと言います。

近年、講演会などで多くの思春期の子どもたちと関わる中でさまざまな問題に直面した内田さんは、子どもたちを育むのは食卓の豊さであるという考えにたどり着きます。親の愛を直接「いただく」ことのできる「食」によって私たちは

成長し、たくさんさんの経験を重ね、今を生きているのです。
「私はあなたを愛するために生まれてきました」

この本を読むと、「Queen」の曲に込められた愛の形を、さまざまな面から捉えられるように思います。とても読みやすく、ストレートに表現されている言葉の数々は、身体の中にスッと入ってきます。私はすべてを読み終えたあと、思わず実家の母に電話を掛けていました。いつか自分も愛する人に出会い、母になる日がくるならば、その時にもう一度この本を手にとって「生」について考えてみたい。そう感じさせてくれた一冊です。

内田 美智子、佐藤 剛史 著
西日本新聞社



高価な洋服を買うくらいだったら、たくさん本を読んで知識を身に付けたいと語る読書好きの吉富さん。昨年11月に行われた読書ツアーにも参加。
曾祖父である松野栄一郎氏が1936年開催のベルリンオリンピックで日本選手団の旗手を務めたことから、「ベルリンオリンピック参戦の意図ー松野栄一郎の日記を手がかりに」をテーマに大学院で研究中。

来てみて 話して こころの整理 ヒューマンディベロップメントセンター(HDセンター:学生相談室)のご案内

ヒューマンディベロップメントセンターでは、カウンセラーが皆さんからの相談を受け付けています。
例えば...

大学になじめない、親しい友達ができない
授業に興味がない、授業についていけない不安
なんとなくだるい、よく眠れない など
どんな相談でも結構です。

一人で悩まずに、HDセンターに来てみませんか?

相談内容の秘密は守りますので、安心して相談してください。

【相談時間】 月・水・金 9時30分~16時
火・木 9時30分~18時40分

【場 所】 学生部事務室棟3階 (1階に学生課がある建物)
○ご家族・教職員の方からのご相談もお受けしています。

相談・グループ・セミナーは無料、相談は予約制です

【予約・問い合わせ】

092-871-6631 (代) (内線2630)

※お電話は平日の16時30分までをお願いします

ホームページ (<http://www.adm.fukuoka-u.ac.jp/fu816/home1/hd1.htm>) もご覧ください。

グループ・セミナーのお知らせ

新入生の方や、「HDセンターに興味があるけれど、まだ行ったことがない」という皆さん、この機会に一度見に来てみませんか?どの学年の方でも参加できます。

- **ランチタイムを一緒に**
HDセンターで一緒にランチタイムを過ごしてみませんか?
毎週月曜日 12時~13時 担当カウンセラー: 屋宮 公子
- **社会で役立つ対人関係スキルグループ**
授業やサークル、アルバイト、面接などの社会的場面が苦手な方におすすめします。
毎週木曜日 16時20分~17時20分
担当カウンセラー: 屋宮 公子
- **はじめの一步**
初対面の人と楽しく過ごす時間です。新入生や初対面の人との会話が苦手な人におすすめです。
4/15(木)、22(木)、29(木) 16時20分~17時20分
担当カウンセラー: 屋宮 公子
- **青春を活かすヒントな話**
新入生、在学生問わず、大学生活(青春)をより充実させたいと思っている人に、耳寄りな話です。
5/25(火)、6/8(火) いずれも14時50分~16時10分
担当カウンセラー: 松尾 公孝

福岡大学附属若葉高等学校が誕生

平成22年4月1日(木)、学校法人の合併により「福岡大学附属若葉高等学校」(旧九州女子高等学校)が誕生し、理想的な高大一貫教育の実現に向け新たな歩みを始めました。

福岡大学附属若葉高等学校

住所: 福岡市中央区荒戸三丁目4-62
設置コース: 福大コース・特別進学コース・国際コース・進学体育コース

○校訓

強く、正しく、優しく。

○教育理念

社会に貢献できる知性と徳性に優れた人間性豊かな人の育成
高大一貫教育を通じて、明朗活潑たる自主独創の態度の育成

○教育方針

高等学校教育のあるべき姿に立ち返り、後期中等教育の目的を達成する
福岡大学の附属高校として、理想的な高大一貫教育を実現する
生徒一人ひとりの個性と適性に基づくキャリア形成支援を行う



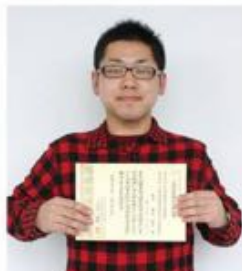
「若葉高等学校」は、
はつらつとして清々しく、
しなやかで柔軟な、
これから成長していく生徒を
イメージして名づけられました。



国家資格「二級知的財産管理技能士」に合格

わが国が国家戦略として知的財産立国を目指す中、平成20年から国家資格となった知的財産管理技能士が注目を集めています。

その知的財産管理技能士(管理業務)の第4回検定試験が昨年7月に全国各地で行われ、二級技能検定を受検した本学理学部4年次生(受検当時)の藤川和さんが見事合格を勝ち取りました。



二級検定試験は学科試験(2,665人受検)と実技試験(2,870人受検)があり、最終的に試験に合格したのは476人。しかも21歳から25歳までの合格者数はわずか34人でした。藤川さんは、理学部の授業科目「発明と特許」を履修したことをきっかけに、三級検定試験に続き挑戦。将来、特許の知識を持った技術者になりたいという藤川さんは合格証書を手に「どの学部も学生であっても、将来、役立つと思うので挑戦してほしい」と語ってくれました。

福岡大学給費奨学金(2号)を授与

スポーツ・学術文化活動で優秀な成績を挙げ、かつ人格・品行等に優れた学生に与えられる給費奨学生3人が決定し、3月8日(月)、学生部事務室棟2階会議室で奨学金の授与式を行いました。



(前列左から)永井さん、池田さん

氏名(授与時の学部および年次)	スポーツ・学術文化活動および結果
河田 晃兵さん(商学部4年次生)	第25回ユニバーシアード競技大会(サッカー)3位
永井 謙佑さん(スポーツ科学部3年次生)	
池田 真悠子さん(人文学部4年次生)	第14回全日本高校・大学生書道展大賞

那珂小学校の体育授業で全国制覇のサッカー部が指導

2月4日(木)から10日(水)までの5日間、福岡市立那珂小学校の依頼を受け、2009年度総理大臣杯全日本大学サッカートーナメントで全国制覇に輝いた本学サッカー部がゲスト・ティーチャーとして招かれ、体育の授業で指導しました。技術だけでなくサッカーの楽しさを伝えられるように、各学年の成長段階に合わせた内容で指導しました。

サッカー部員たちと一緒にボールを追いかけた4年生の西本重倫くんは「いつもの体育の授業よりも楽しい」と笑顔。吉田秀人校長からも「子どもの表情が変わりました」と感謝の言葉をいただきました。

サッカー部の乾真寛監督(スポーツ科学部教授)は、「スポーツは何より楽しむことが一番です。全国制覇を果たしたチームと触れ合うことで地元の子供たちに夢を与えることができ、また、サッカー部の学生たちも教育の現場で貴重な実体験ができました。今後もサッカーを通じて積極的に地域に貢献していきたい」と話していました。



本学サッカー部は部員の技術向上のほか、専門知識と技術を生かして、地域にサッカーを普及させることも活動目標としている。



ななくま通信

NANAKUMA Communication

インドネシア共和国ゴワ市と環境技術協力締結

昨年12月8日(火)、本学でインドネシア共和国南スラウェシ州ゴワ市と環境技術協力に関するMOU(覚書)の締結式が行われました。ゴワ市の廃棄物マスタープラン作成、廃棄物埋立地の整備に関する技術指導、さらには環境人材育成へとつないで社会貢献することを目的としています。衛生学部長は「40年以上の歴史と実績を有する本学の廃棄物研究成果は、既にアジア各国でも採用、普及し始めている。今回の締結を契機に、インドネシア全体に普及することを望んでいる」と挨拶しました。

締結式終了後のセミナーではゴワ市長のイチサン・ヤシン・リンボ氏と本学資源循環・環境制御システム研究所長の樋口壯太郎教授が発表。工学部建築学科の黒瀬重幸教授も「インドネシアの屋台とその背景」をテーマに講演しました。環境を学ぶ学生やアジアの食文化に関心のある参加者が集い、有意義な時間を過ごしました。



産学官の技術連携を探る第11回福岡大学技術交流会を開催

昨年12月2日(水)、本学文系センター棟で第11回福岡大学技術交流会を開催しました。来賓の九州経済産業局の中島英史地域経済部長のあいさつに続き、基調講演では、三鷹光器株式会社代表取締役社長の中村勝重氏が「設計図は現場にあり! “ものづくり”への限りなき挑戦」をテーマに創業以来の独自の技術開発力と知財の重要性について講演。その後、本学と企業による共同研究の成果発表が行われました。また、企業ニーズと大学シーズの交流の場としての産学ポスターセッションでは、35件のパネル展示が行われるなど、今後の産学官の技術連携を図るための意義ある交流会となりました。



「地域連携協定調印式および福岡大学出身首長によるシンポジウム」を開催

1月30日(土)、60周年記念館ヘリオスホールで、「地域連携協定調印式および福岡大学出身首長によるシンポジウム」を開催しました。

本学は、研究成果を地域に還元し、大学と自治体の協働で地域の課題の解決に努めていくために、共同作業を進める「場」が必要と考え、そのための窓口の設置を含む「地域連携協定」を5市町と締結。5市町はいずれも本学卒業生が首長を務める粕屋町(篠崎久義町長/経済学部卒)、太宰府市(井上保廣市長/法学部卒)、筑紫野市(平原四郎市長/経済学部卒)、筑前町(田頭喜久己町長/商学部卒)、那珂川町(武末茂喜町長/体育学部卒)です。

調印式に続き行われたシンポジウムでは、衛生学部長のあいさつ後、本学の地域連携活動を報告。続いて、各首長の方々より「大学と町づくり」というテーマで講演していただきました。その後の自由討議では、本学学生が「協定により、学生はどう自治体とかわかっていくべきでしょうか」と質問。各首長からは専門的知識を生かす場として、大学のキャンパスから地域へと積極的に出てほしいというメッセージをいただきました。



本学も「2010年上海国際博覧会」に出展(8/13~8/17)

福岡市と3大学連携推進会議(本学、香蘭女子短期大学、日本赤十字九州国際看護大学)が連携して、中国で開催される「2010年上海国際博覧会」の日本館イベントステージ行事に参加することが決定し、2月17日(水)、記者会見を福岡市役所で行いました。催事名称は「福岡発! 廃棄物処理場の技術(福岡方式)と紙おむつリサイクルシステム」。期間は8月13日(金)~17日(火)までの5日間です。文部科学省戦略的大学連携支援事業として採択された「紙おむつリサイクルから始まる環境保全と明るく快適なシルバーライフの提案」の取り組みの紹介や、廃棄物処理技術「福岡方式」の紹介などを行う予定です。会見した本学の松藤康司工学部教授は、「福岡発の環境技術を世界にアピールできることは意義深い」と語りました。



上海国際博覧会 日本館(紫雲島)

名誉教授・定年退職者一覧

長い間お疲れさまでした。そして本当にありがとうございました。

福岡大学を愛し、学生を慈しみ、そして教育研究・医療にご尽力いただいた方々がその任を全うして定年を迎えられました（なお、景山和幸事務局長は、昨年11月末日付けをもって退職されました）。また、4月13日（火）、長年にわたる功績を称え、4人の先生に名誉教授の称号が授与されました。

別れは寂しいものですが、これからは第二の人生を悠々とお過ごしください。私たちは皆さま方のことを決して忘れません。

福岡大学名誉教授

人文学部	池上 龍太郎 水崎 博明
理学部	平川 晋 藤原 玄夫

定年退職者（※選択定年者を含む、敬称略。）

■福岡大学

【教育職員】

教 授	池上 龍太郎	人文学部
〃	高田 熱美	〃
〃	水崎 博明	〃
〃	平川 晋	理学部
〃	藤原 玄夫	〃
〃	江崎 文也	工学部
〃	井上 信昭	〃
准 教 授	岩崎 敬雄	福岡大学病院 診療部
講 師	西川 道子	理学部
〃	波多江 純真	医学部
助 手	田中 恵治	理学部

【事務職員】

参 事	坂元 正明	学長付
〃	瀬理 恵二	募金事務局
〃	古川 幹男	企画部
〃	中山 京子	用度課
〃	本田 稔	〃
〃	深水 一敏	医学部事務局
〃	堀下 憲一	医学部事務課
〃	渡辺 恵博	〃
〃	益満 寛明	学術情報課

参 事	因幡 英明	医学情報課
〃	河原田 信毅	情報支援室
〃	太田 寿一	入学センター事務局
〃	手島 信博	〃
〃	高木 功	言語教育研究センター事務局
〃	都地 正範	エクステンションセンター事務局
〃	有岡 義一	施設二課（分室）

【医療技術職員】

栄 養 士	松藤 美紀子	学生課（自修寮）
-------	--------	----------

【看護職員】

看 護 師 長	下條 三和	福岡大学病院 看護部
〃	寺田 久子	福岡大学病院 看護部
〃	麻生 民子	福岡大学筑紫病院 看護部

【労務職員】

医療補助員	三島 いく子	福岡大学病院 診療部
-------	--------	------------

■附属大濠高等学校・中学校

【教育職員】		
教 諭	徳永 晃一	附属大濠高等学校

福岡大学への寄付者ご芳名一覧

本学に対し多大なるご寄付を賜り、深く感謝いたします。ここに、平成21年7月1日から12月31日までの間にご寄付いただいた方々のご芳名を掲載させていただきます。

■50,000,000円 株式会社エフ・ユー・プロテクション 様	■100,000円 株式会社サンコンタクトレンズ 代表取締役 大橋 敏夫 様	■道路舗装（遮熱性舗装『クールバービース』） 株式会社NIPPO 様
■5,000,000円 福岡大学同窓会 社団法人有信会 様	■100,000円 福西会病院 様	■道路舗装（保水性舗装『アクアクール』） 鹿島道路株式会社 様
■2,000,000円 大同生命保険株式会社 様	■50,000円 朝倉健生病院 様	■道路舗装（常温型自然石風層舗装『ネイチャーコートST』） 東亜道路工業株式会社 様
■1,000,000円 稲永病院 様	■50,000円 村上華林堂病院 様	■道路舗装（弾性舗装『レインボーミックSG』）およびコンデンサー式ソーラーLED 日本道路株式会社 様
■1,000,000円 有限会社富士商会 代表取締役 峯 正俊 様	■50,000円 医療法人社団朝菊会（昭和病院） 様	■道路舗装（歩行者系弾性舗装『ソフトウォーク』） 大成ロテック株式会社 様
■100,000円 岩田産業株式会社 代表取締役社長 岩田 陽男 様	■50,000円 福岡輝栄会病院 様	■道路舗装（遮熱性舗装『ヒートオフパイプ』） 前田道路株式会社 様
	■50,000円 さくら病院 様	■ネットワーク配線工事一式（放射線部） 匿名 様

第8回「中国語弁論大会」で最優秀賞を受賞

昨年12月13日（日）、第8回「中国語弁論大会」（福岡市主催）が福岡学生交流会館で開催され、山崎三由香さん（人文学部東アジア地域言語学科4年次生）が「中国語が教えてくれたこと」というテーマで発表し、最優秀賞に輝きました。

また、中島あゆみさん（人文学部東アジア地域言語学科4年次生）も優秀賞を受賞しました。



中国からの留学生と昼休みを利用して会話をし、発音にも磨きをかけた山崎さん。弁論大会では発音の良さも高く評価された。

第1回「話してみよう韓国語」で最優秀賞を受賞

昨年12月19日（土）、第1回「話してみよう韓国語」福岡大会（「話してみよう韓国語」福岡大会実行委員会主催、大韓民国文化体育観光部ほか共催）が九州産業大学で開催され、一般・指定スキット部門で山下諒さん（人文学部歴史学科3年次生）と近藤奈央さん（人文学部東アジア地域言語学科2年次生）のペアが最優秀賞に輝きました。

この一般・指定スキットとは、制限時間3分の中、舞台上でBGMを用いて演じ、韓国語の発音や表現力を競うというもの。

元々、全く面識がなかった2人でしたが、言語教育研究センターの李秀賢先生の紹介でペアを組むことになり、アイデアを出し合い練習を重ねました。その結果、大会当日は阿吽の呼吸で思いっきり楽しく演じ、会場は爆笑の渦に包まれました。審査委員からも高い評価を得ることができたそうです。



山下諒さん



近藤奈央さん

課外活動の優秀な成績者を表彰

1月8日（金）および3月8日（月）、学生部事務室棟2階会議室で、課外活動の優秀な成績者に対する表彰式を行い、次の2団体、個人10人に対して、小野寺学生部長が表彰状と報奨金を授与しました。

■1月8日（金）表彰分

学友会名	氏名（表彰時の学部および年次）	大会種目	結果
モーターボート・水上スキー部		第54回桂宮杯全日本学生水上スキー選手権大会男女団体総合	準優勝
	羽釜駿次郎さん（スポーツ科学部2年次生）	第54回桂宮杯全日本学生水上スキー選手権大会男子スラローム	優勝
		第54回桂宮杯全日本学生水上スキー選手権大会男子ジャンプ	2位
	山下 幸恵さん（理学部4年次生）	第54回桂宮杯全日本学生水上スキー選手権大会女子トリック	2位
陸上競技部	岡部 優真さん（スポーツ科学部1年次生）	第78回日本学生陸上競技対校選手権大会男子三段跳び	優勝
	佐藤 秀美さん（スポーツ科学部4年次生）	第78回日本学生陸上競技対校選手権大会 女子走幅跳び	優勝
	西澤 真徳さん（スポーツ科学部4年次生）	第78回日本学生陸上競技対校選手権大会男子110mハードル	2位
	田中 千智さん（スポーツ科学部3年次生）	第78回日本学生陸上競技対校選手権大会女子400m	2位
書道部	福徳 亮さん（薬学部3年次生）	第14回全日本高校・大学生書道展	大賞



第54回桂宮杯全日本学生水上スキー選手権大会男子スラロームで優勝した羽釜さん。



■3月8日（月）表彰分

学友会名	氏名（表彰時の学部および年次）	大会種目	結果
サッカー部		第58回全日本大学サッカー選手権大会	準優勝
陸上競技部	荒尾 将吾さん（スポーツ科学部3年次生）	第5回東アジア競技大会（男子リレー）	2位
柔道部	川上 由貴さん（スポーツ科学部4年次生）	平成21年度全日本学生柔道体重別選手権大会（70kg級）	2位
法律研究部	百崎 晴俊さん（法学部2年次生）	第59回全日本学生法律討論会（質問の部）	2位



2010年2月4日(木)
西日本新聞朝刊掲載

福岡大学病院救命救急センターの
田中潤一医師が、1月16日から14日
間(現地での診療は1月18日から8日
間)、大地震に見舞われたハイチに国
際緊急援助隊医療チームの一員とし
て派遣された記事が掲載されました。

震災のハイチで医療活動



福大病院・田中医師

重傷者多く、電力、機器不足

【ハイチでの活動の様子を田中潤一医師が語る】
ハイチの首都ポート-au-Princeに1月16日から14日間、ハイチの診療を行った。田中医師によると、ハイチでは地震による被害が深刻で、重傷者が多く、電力、機器不足が大きな問題となっている。また、医療設備が壊滅的な被害を受けたため、診療が非常に困難な状況に陥っている。

「想像以上に過酷だった」

34人目の大震災後、ハイチの状況は想像以上に過酷だった。田中医師は、ハイチでの医療活動が非常に困難な状況に陥っていることを報告している。

メディアに見る福岡大学

重症糖尿病治療に光

安波・福大教授ら共同研究チーム



安波洋一教授

安波教授と、理化学研究所免疫・アレルギー科学総合センター(横浜市の谷口克彦センター)の共同研究。米科学誌「シャール・オブ・クリニカル・インベスティゲーション」電子版に2日、掲載された。

福岡大医学部の安波洋一教授(再生・移植医学)は、重症糖尿病の根本的な治療法として期待される「膵島細胞移植」で、タンパク質の一種「HMG1」が拒絶反応を促す仕組みをマウス実験で突き止めた。明らかにした。「HMG1」の抗体を用いれば、移植した細胞が拒絶反応で壊され、失われる事態を避けられるという。安波教授は「4、5年先には治療にも活用したい」としている。

タンパク質の一種関与

膵島移植の拒絶物質特定

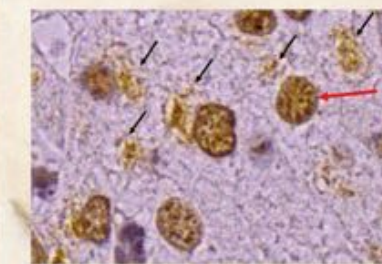
スリン注射から解放される治療法として、2004年から国内の6病院で18例行われた。福大病院は1人に実施し、さらに5人が希望している。

膵臓は100g余りの臓器に100g余りの膵島細胞が含まれ、提供者の膵臓を切取って採取する。移植後の激しい拒絶反応が課題で、1度でうまく行かないことが多く、提供者を代えて移植を繰り返す必要がある。

安波教授らは、人体の膵臓の移植に存在する「HMG1」と体の危機に

関する先行研究に着目。マウスの膵臓の膵島細胞を通過して、膵島細胞に多く含まれるHMG1が移植というストレスによって細胞外に飛び出し、リンパ球を活性化して拒絶反応を招くことを確認した。今後、血中のHMG1をみて拒絶反応も予測可能という。

安波教授は「1度の移植で膵島細胞を生着でき



移植直後の膵島細胞のHMGB1の局在
移植膵島では茶色に染色されたHMGB1が核(赤矢印)より細胞質(矢印)に放出されている。

2010年1月20日(水)
西日本スポーツ新聞掲載

本学サッカー部から全国の大学で最多となる7人のプロサッカー選手が誕生しました。J1の「ガンバ大阪」入団の河田昇兵さん、「ヴィッセル神戸」入団の高橋祐太郎さんら7人の選手たちが入団への意気込みを語った記事が掲載されました。





地域の福大

3 福岡市地下鉄七隈線 福大前駅 ○福岡市城南区七隈8 地下鉄福大前駅構内 ○TEL:092-894-7800(橋本駅)

マナー、エコ活動：福大生との連携で市民に愛され、利用しやすい地下鉄に

地下鉄七隈線が開業して丸5年。学生の皆さんの通学はもちろん、本学教職員の通勤、福大病院への通院と、市民の足として定着してきました。「福大前駅の乗降人数は1日約5,400人(平成20年調べ)。七隈線の中では最大の利用者数です」と橋本駅長。入試期間や入学式では混雑するため、「事前に大学の学生課と打合せを行い、臨時列車の運行や駅スタッフを増員しての場内整理など、大学ときめ細かな連携体制を回っています」とのこと。

また、学生の皆さんが主体となって行っている「マナーアップキャンペーン」では、乗車時の携帯電話使用



「学生の皆さんはマナーがいいです」と橋本駅長西本剛生さん。



駅の構内には地域の施設や風景などを紹介するパネルを展示。福岡大学のポスターなども掲示されている。



4 福岡の米屋 屋部商店 ○福岡市城南区友丘2-2-45 ○TEL:092-871-3397

お米屋さんの本格精米でおいしさアップ お米の味をかみしめてください

昭和32年創業の「屋部商店」は、地元で愛されるお米屋さん。店頭には並ぶ20種類以上のお米はどれも玄米の状態、注文に応じてその場で精米してくれます。お米それぞれには甘味や粘り度などの表示がされており、自分の好みで選ぶことができます。昔は友丘近辺にも下宿がたくさんあって、多くの福大生でにぎわっていました。下宿にもたくさんのお米を配達してたんですよ」と昔を懐かしむ店主の中島佐和さん。現代人の米離れの影響で当時ほどではないものの、今も多く福大生が訪ねて来られるそうです。

「最近では健康ブームで若い人にも



お米の食味鑑定士の資格を持つ中島さんが、お米に関するいろいろなアドバイスしてくれる。



地元で愛されるお米屋さんを守り続ける中島さん親子。左から豊明子さん、店主の佐和さん、拓海さん。



店内にはお米以外にも身体に良い雑穀や、精米時に出る小糠(こめ)を使ったお米パンなども販売している。

サポーター

Fukuoka University supporters in the region

福岡大学の歴史とともに変貌を遂げてきた街の風景。今も昔も変わらないのは、学生の皆さんを見守る温かいまなざし。

○福岡市城南区七隈4-16-3 ○TEL:092-871-6354 七隈粘土製作所

若い世代にも知ってほしい 伝統文化の素晴らしさ、職人の心意気

伝統工芸品「博多人形」の原料となる粘土を作る「七隈粘土製作所」。戦前はたくさん粘土製作所があったのですが、今は市内でもここだけになりました。初代の頃は粘土を使って耐火煉瓦を作っていた、福岡大学工学部の研究用に古い煉瓦を提供したこともあり「粘土を掘るのは、毎年11月の終わりから12月の半ば頃まで。他の時期は水が浮いてきて掘れなくて」という大原さんに付いて製作所から歩いてすぐのところにある粘土の採取場に向かいました。

建物や道路が密集する住宅街の一角に忽然と現れた高い土の壁。「土はあと40〜50年分はあるけど、博多人形の職人がだんだん減って



祖父の代からの粘土づくりを受け継ぐ、大原利彦さん。



七隈交差点近くの住宅街にある七隈粘土製作所。博多人形の粘土が作られるのはここだけになってしまった。



原料の土から砂を取り除き、攪拌、ろ過などいくつかの工程で約10日間かけて作り上げる。



○福岡市城南区七隈4-3-30 ○TEL:092-865-4606 小林青果伊都志摩屋

自炊ビギナーの食生活をサポートする 採れたて、季節の新鮮野菜

七隈線の真上を走る「花みずき通り」沿いにある青果店「小林青果伊都志摩屋」。店先には色とりどりの種類豊富な新鮮野菜がズラリ。みずみずしい光沢を放ち、見るからにおいしいような野菜は、店主の小林俊文さんの出身地である糸島市から毎日仕入れてきます。「地元で採れた新鮮な野菜、特に旬にこだわってそろえています」と話すように産地表示にも気を配り、お客さまの信頼に全力で応えています。

さらに、店内にたくさん並んでいる漬物などの加工品は、すべて小林さんの手作り。「お客さまには本当に良いものだけをお届けした



お店の片隅で、その日仕入れたばかりの野菜をお客さまが調理しやすいように手作業で仕込んでいる。



野菜へのこだわりは人一倍という、店主の小林俊文さん。



お昼の時間帯でもお客さまが絶えない伊都志摩屋。街の八百屋として住民からも親しまれている。



「学宝」探訪

vol.1 新型人工芝サッカーグラウンド

正門を入り有信並木を進むと右手に見えてくる鮮やかな緑のグラウンド。この人工芝のサッカー場は、本学が誇る世界最高峰の施設であることを知っていますか？ サッカー場としては、日本でも数少ないFIFA（国際サッカー連盟）最高規格の認定を得た人工芝サッカーグラウンドであり、さらに都市水害を防ぐ「ため池」機能を兼ね備えた施設なのです。

近年、大雨による都市水害が問題視される中、雨水を貯留することで水害を防ぐことができないかと、土壌の研究を重ねていた本学工学部の渡辺亮一准教授。

人工芝のサッカー場で選手の技術向上を図りたいと考えていたスポーツ科学部の乾真寛教授。二人の思いが一つとなり、福岡市や民間企業を含めた産学官連携学際プロジェクト発足へと発展していきました。

2007年5月に完成したサッカー場は、特殊なゴム製のチップとマットレスを用いることで、衝撃吸収性が高く競技者への負担を軽減させる機能を持つ人工芝を採用。その下には、透水性と保水性に優れた新しい改良土壌を埋設。雨水を一時的にグラウンド下に貯留することで、

大雨時の洪水を防ぐ働きがあり、七隈川流域に広大な面積を占める本学の設備が、近隣地域の水害抑制に大きく貢献できるものになりました。さらに、保水された水分が蒸発し人工芝の表面温度を下げることから、ヒートアイランド現象の緩和にもつながるとして注目されています。

この優れた環境技術を備えた「福岡大学方式」の人工芝は、名実共に日本一となった本学サッカー部の技術を育むグラウンドとしての実力も証明。環境と競技活動の両方に効果的な人工芝技術として、世界に発信されています。